

文書登録番号	調査		設計者	検査者
七建第18-229号	町長		副町長	財政課長
	課長			
事業場所 七ヶ浜町東宮浜字小田			地内	
平成 30 年度 要害1号1号橋修繕工事			実施設計仕様書	
事業費 一金 円也 内消費税 円也 期間 自 至 平成31年1月31日		「仕様概要・その他」		
		橋長 21.75 m ひび割れ補修工(主桁、橋台、地覆、台座モルタル) 一式 断面補修工 一式 剥落防止工 3.3 m3 防護柵取替工(高欄兼用防護柵 H=1.1m) 43.3 m 落下物防止柵工(H=1.9m) 32 m 橋面防水工(塗膜系防水層) 126 m2 伸縮装置取替工 一式 区画線工(白色 実線 W=15cm t=1.0mm) 21.6 m 舗装打換え工(橋面外) 38.1 m2 舗装打換え工(橋面部) 129.8 m2		
起 工 理 由				

設計内訳書（実施）

工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事							
		式	1				
舗装工							
		式	1				
舗装打換え工							
		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:50mm						単 1号
		m	13				
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm						単 2号
		m2	32				
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:3cm						単 3号
		m2	6				
殻運搬	殻種別:舗装版破碎						単 4号
		m3	2				
殻処分	殻種別:アスファルト殻						単 5号
		m3	2				
不陸整正	補足材:無						単 6号
		m2	38				
表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生密粒度As20F, 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m以上						単 7号
		m2	32				
表層	材料種類:各種(2.10以上2.20t/m3未満), 材料規格:再生細粒度As13, 舗装厚:30mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当)						単 8号
		m2	6				
橋面舗装工							
		式	1				
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm						単 9号
		m2	130				

設計内訳書 (実施)

工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻運搬	殻種別:舗装版破碎	m3	6				単 10号
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	6				単 11号
表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:密粒度As改質II型13,舗装厚:70mm,平均幅員:1.4m以上	m2	130				単 12号
区画線工		式	1				
区画線工		式	1				
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装の有無:排水性舗装無	m	22				単 13号
橋梁付属物工		式	1				
伸縮継手工		式	1				
鋼・コン製伸縮装置補修 A1	工種:補修,伸縮装置本体型式:軽量型,仕様:2車線相当,伸縮装置本体材料の計上:有り	m	6.2				単 14号
鋼・コン製伸縮装置補修 A2	工種:補修,伸縮装置本体型式:軽量型,仕様:2車線相当,伸縮装置本体材料の計上:有り	m	6.2				単 15号
排水施設工		式	1				
コンクリートアンカーボルト設置		本	8				単 16号
排水管金具取替		箇所	2				単 17号

設計内訳書（実施）

工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁用防護柵工							
		式	1				
橋梁用防護柵	撤去・設置, L=43.3m, H=1.1m, 高欄 兼用防護柵						内 1号
		式	1				
落下物等防止柵	設置, L=32.0m, H=1.9m, フラケット式						内 2号
		式	1				
足場・防護	防護種類:シート+板張						単 18号
		m2	50				
橋梁補修工							
		式	1				
ひび割れ補修工							
		式	1				
低圧注入工法 主桁, 橋台	材料種類:エポキシ樹脂						単 19号
		橋	1				
低圧注入工法 地覆, 台座モルタル	材料種類:エポキシ樹脂						単 20号
		橋	1				
断面修復工							
		式	1				
左官工法 下部工	材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:有り						単 21号
		橋	1				
左官工法 下部工	材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:無し						単 22号
		橋	1				
左官工法 上部工	材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:有り						単 23号
		橋	1				
左官工法 上部工	材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:無し						単 24号
		橋	1				

設計内訳書（実施）

工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
左官工法 ダイヤフラム	材料種類:ホリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:有り	橋	1				単 25号
表面被覆工		式	1				
下地処理		橋	1				単 26号
プライマー塗布	材料種類:エポキシ樹脂プライマー	橋	1				単 27号
下塗り(ハテ塗布)	材料種類:エポキシ樹脂ハテ	橋	1				単 28号
中塗り材塗布	材料種類:柔軟形エポキシ樹脂系塗料	橋	1				単 29号
上塗り材塗布	材料種類:柔軟形ふっ素樹脂系塗料	橋	1				単 30号
高所作業車	トラック架装, 垂直昇降, フラットフォーム型	日					単 31号
橋面防水工		式	1				
橋面防水	塗膜系防水材	式	1				内 3号
運搬処理工		式	1				
殻運搬・処分	Co殻	m3	0.4				単 32号
仮設工		式	1				

設計内訳書（実施）

工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通管理工							
		式	1				
交通誘導警備員							単 33号
		人日					
直接工事費							
		式	1				
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費（率計上）							
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
		式	1				
工事費計							
		式	1				

一式当り内訳書

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	橋梁用防護柵	撤去・設置, L=43.3m, H=1.1m, 高欄兼用防護柵					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
高欄撤去		m	43.3				
橋梁用高欄	設置, 組立式	m	43.3				
防護柵材料費		式	1				単 39号
現場発生品・支給品運搬	クレーン装置付2t級2t吊, 5.0km以下, 1.1t超1.5t以下	回	1				
スクラップ へび-H1		t	1.3				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	落下物等防止柵	設置, L=32.0m, H=1.9m, ブラケット式					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
落下物等防止柵		m	32				
落下物等防止柵(材料費)		式	1				単 40号
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	橋面防水		塗膜系防水材					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
	塗膜系防水	補修,有,42.46m/100m2,有,33.33m/100m2,無	m ²	126				単 54号
	排水柵		箇所	2				
	排水管(材料費)		m	3.3				
	コンクリート削孔(さく岩機)	100mm以上200mm未満	孔	2				
	コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)	90mm以上110mm未満	孔	2				
	合計							

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:50mm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m	1				
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 10cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:3cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 10cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	殻運搬	殻種別:舗装版破碎	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械(騒音対策不要、厚15cm以下), 有り, 6.0km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	処処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無					単 34号	
			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	不陸整正	補足材:無	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正		無し,全ての費用						
			m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:1.4m以上	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		1.4m以上,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	表層	材料種類:各種(2.10以上2.20t/m3未満),材料規格:再生細粒度As13,舗装厚:30mm,平均幅員:1.4m未満(1層当	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(歩道部)		1.4m未満(仕上厚50mm以下),30mm,各種(2.10以上2.20t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 10cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	殻運搬	殻種別:舗装版破碎	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械(騒音対策不要、厚15cm以下), 有り, 6.0km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 34号	
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:密粒度As改質II型13,舗装厚:70mm,平均幅員:1.4m以上	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		1.4m以上,70mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート(各種),全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装の有無:排水性舗装無	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 35号	
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	鋼・コン製伸縮装置補修	工種:補修,伸縮装置本体型式:軽量型,仕様:2車線相当,伸縮装置本体材料の計上:有り	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用伸縮継手装置設置工		補修,軽量型,2車線相当,無,有	m	1			単 36号	
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	鋼・コン製伸縮装置補修	工種:補修,伸縮装置本体型式:軽量型,仕様:2車線相当,伸縮装置本体材料の計上:有り	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用伸縮継手装置設置工		補修,軽量型,2車線相当,無,有	m	1			単 37号	
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	コンクリートアンカーボルト設置		単位	本	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリートアンカーボルト設置			本	1				
合計								
単価							円/本	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	排水管金具取替		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリートアンカーボルト設置			本	2				
材料費(個)			個	1			単 38号	
合計								
単価								円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	足場・防護	防護種類:シート+板張	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場・防護		シート+板張, 1回, 0.5月以下	m2	1				
合計								
単価								円/m2

1 次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	低圧注入工法	材料種類:エポキシ樹脂	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		2m, 0.04kg, 0.5kg, 7個	橋	1			単 41号	
合計								
単価							円/橋	

1 次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	低圧注入工法	材料種類:エポキシ樹脂	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		15.2m, 0.11kg, 3.9kg, 51個	橋	1			単 42号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	左官工法	材料種類:ポ ^レ リマ ^ー セメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:有り	単位	橋	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有, 0.02m3	橋	1			単 43号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	左官工法	材料種類:ポ ^レ リマ ^ー セメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:無し	単位	橋	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		無, 0.006m3	橋	1			単 44号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	左官工法	材料種類:ポ ^o リマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:有り	単位	橋	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有, 0.01m3	橋	1			単 45号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	左官工法	材料種類:ポ ^o リマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無:無し	単位	橋	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		無, 0.005m3	橋	1			単 46号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	左官工法	材料種類:ポ ^レ リマ ^ー セ ^{メント} モ ^{ルタル} , 鉄筋ケ ^{レン} ・ 鉄筋防 ^錆 処 ^理 の有 ^無 :有 ^り	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有, 0.02m3	橋	1				単 47号
合計								
単価								円/橋

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	下地処理		単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表面被覆工(塗装工法) 下地処理		3.28m2	橋	1				単 48号
合計								
単価								円/橋

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	プライマー塗布	材料種類:エポキシ樹脂プライマー	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表面被覆工(塗装工法) プライマー塗布		3.28m2, 0.328kg	橋	1			単 49号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	下塗り(ハテ塗布)	材料種類:エポキシ樹脂ハテ	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表面被覆工(塗装工法) 下塗り(ハテ塗布)		3.28m2, 1.64kg	橋	1			単 50号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	中塗り材塗布	材料種類:柔軟形エポキシ樹脂系塗料	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表面被覆工(塗装工法) 中塗り材塗布		3.28m2, 5.904kg	橋	1			単 51号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	上塗り材塗布	材料種類:柔軟形ふっ素樹脂系塗料	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表面被覆工(塗装工法) 上塗り材塗布		3.28m2, 0.393kg	橋	1			単 52号	
合計								
単価							円/橋	

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	高所作業車	トラック架装,垂直昇降,プラットフォーム型	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
高所作業車[トラック架装・垂直昇降] プラットフォーム型 9.9m×1000kg		0, 岩石工の割増対象にしない, 普通, 3.7時間, 交替制を適用しない, 0, し ない, しない, 5.2時間	時間					単 53号
合計								
単価								円/日

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	殻運搬・処分	Co殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, 人 力積込, 有り, 6.0km以下, 全ての費用	m3	1				
処分費(m3)		無	m3	1				単 55号
合計								
単価								円/m3

1次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B	昼間勤務(交替要員無し)						単 56号
			人日					
	合計							
	単価							円/人日

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻			m3	100				
合計								
単価							円/m3	

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 35号	区画線設置	無し, 熔融式手動, 無し, 実線 15cm, 無し, 1.0mm, 無し, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置(熔融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無		m	1,000				
	トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ 15~18 白		kg	390				
	ガラスビーズ 0.106~0.850mm		kg	25				
	接着用プライマー 区画線用		kg	25				
	軽油 1.2号		L	44				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/m

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	橋梁用伸縮継手装置設置工	補修, 軽量型, 2車線相当, 無, 有	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用伸縮装置 伸縮量20mm			m	1				
伸縮装置工 補修 2車線 軽量型			m	1				
合計								
単価								円/m

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	橋梁用伸縮継手装置設置工	補修, 軽量型, 2車線相当, 無, 有	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用伸縮装置 伸縮量30mm			m	1				
伸縮装置工 補修 2車線 軽量型			m	1				
合計								
単価								円/m

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	材料費(個)		単位	個	単位数量		1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
	材料費 配管用支持金具 φ150用		個	1					
	合計								
	単価							円/個	

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号	防護柵材料費		単位	式	単位数量		1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
	橋梁用高欄(鋼製・タタイル製) 高欄兼用防護柵 L=43.26m H=1.1m		式	1					
	合計								

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	落下物等防止柵(材料費)		単位	式	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	落下物等防止柵 H=1.9m, ブラケット式		式	1				
	合計							

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	2m, 0.04kg, 0.5kg, 7個	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	注入材 ポキ		kg	0.04				
	シール材 シール材 ポキ		kg	0.5				
	材料費 注入器具		個	7				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	15.2m, 0.11kg, 3.9kg, 51個	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	注入材 球 ^o キ ⁿ		kg	0.11				
	シール材 シール材 球 ^o キ ⁿ		kg	3.9				
	材料費 注入器具		個	51				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号	断面修復工(左官工法)	有, 0.02m3	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル(左官工法用)		m3	0.024				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号	断面修復工(左官工法)	無, 0.006m3	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル(左官工法用)		m3	0.007				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号	断面修復工(左官工法)	有, 0.01m3	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル(左官工法用)		m3	0.012				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 46号	断面修復工(左官工法)	無, 0.005m3	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル(左官工法用)		m3	0.006				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 47号	断面修復工(左官工法)	有, 0.02m3	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル(左官工法用)		m3	0.024				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 48号	表面被覆工(塗装工法) 下地処理	3.28m2	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 49号	表面被覆工(塗装工法) プライマー塗布	3.28m2, 0.328kg	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
材料費 エポキシ樹脂プライマー			kg	0.328				
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価								円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 50号	表面被覆工(塗装工法) 下塗り(パテ塗布)	3.28m2, 1.64kg	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	エポキシ樹脂パテ		kg	1.64				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 51号	表面被覆工(塗装工法) 中塗り材塗布	3.28m2, 5.904kg	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
材料費 柔軟形ボール樹脂塗料(中塗り)			kg	5.904				
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価								円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 52号	表面被覆工(塗装工法) 上塗り材塗布	3.28m2, 0.393kg	単位	橋	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
材料費 柔軟形ふっ素樹脂塗料(上塗り)			kg	0.393				
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価								円/橋

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 53号	高所作業車[トラック架装・垂直昇降] プラットフォーム型 9.9m×1000kg	0, 岩石工の割増対象にしない, 普通, 3.7時間, 交替制を適用しない, 0, し ない, しない, 5.2時間	単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手(一般)		人						
軽油 1.2号		L	3.6					
高所作業車[トラック架装・垂直昇降] プラットフォーム型 9.9m×1000kg	供用日当り運転時間:3.7h, 運転日 当り運転時間:5.2h	時間						
合計								
単価							円/時間	

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 54号	塗膜系防水	補修,有,42.46m/100m2,有,33.33m/100m2,無	単位	m 2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋面防水工 塗膜系防水(アスファルト系)補修		m2	100				
	床版排水材 橋梁用排水材		m	44.583				
	目地材 橋面防水用		m	34.997				
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/m 2

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 55号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 Co殻(無筋)		m3	100				
	合計							
	単価						円/m3	

2次単価表

単価使用年月	2018.07
歩掛適用年月	2018.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 56号	交通誘導警備員B	昼間勤務(交替要員無し)	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人					
	合計							
	単価						円/人日	

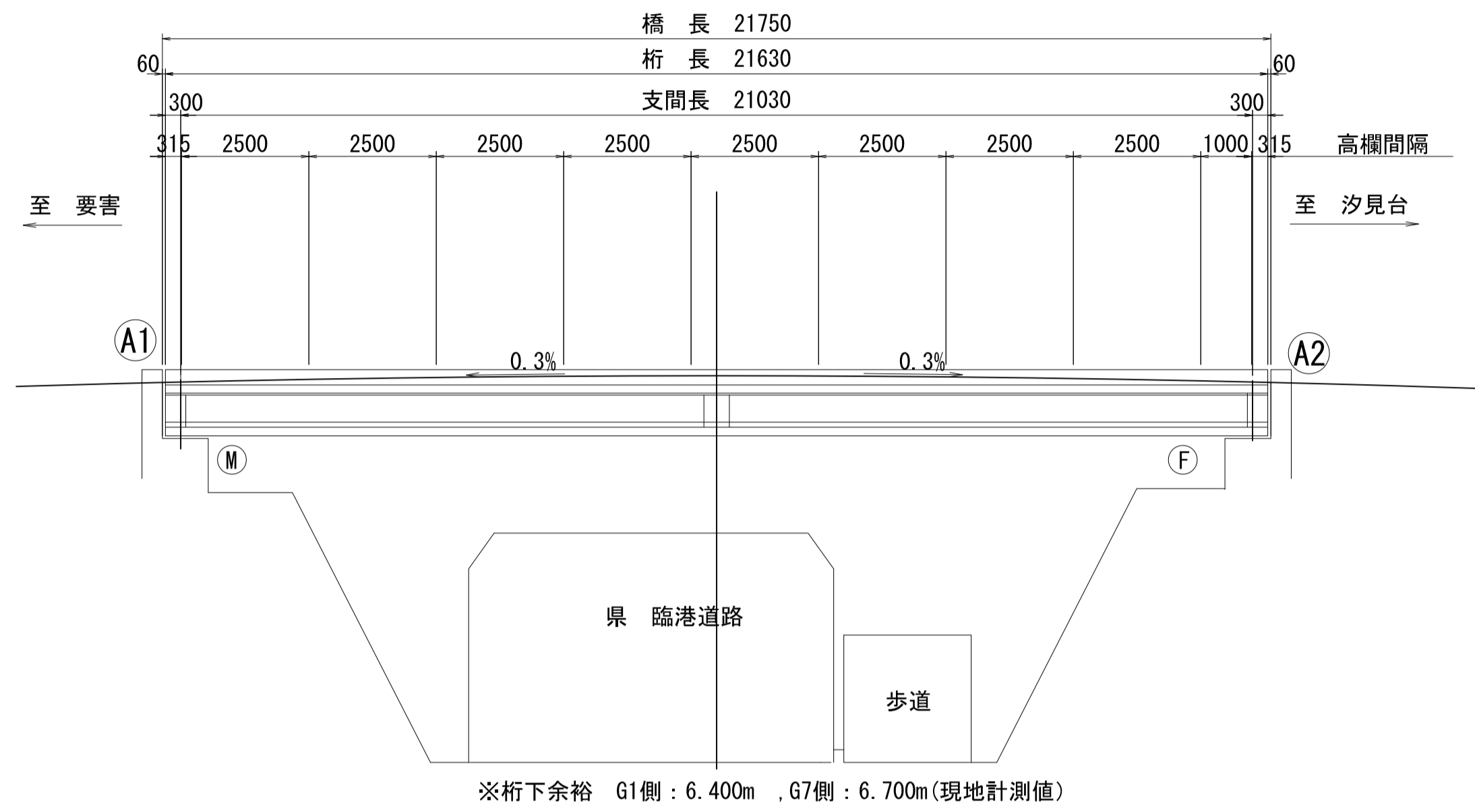
位置図 S-1:FREE



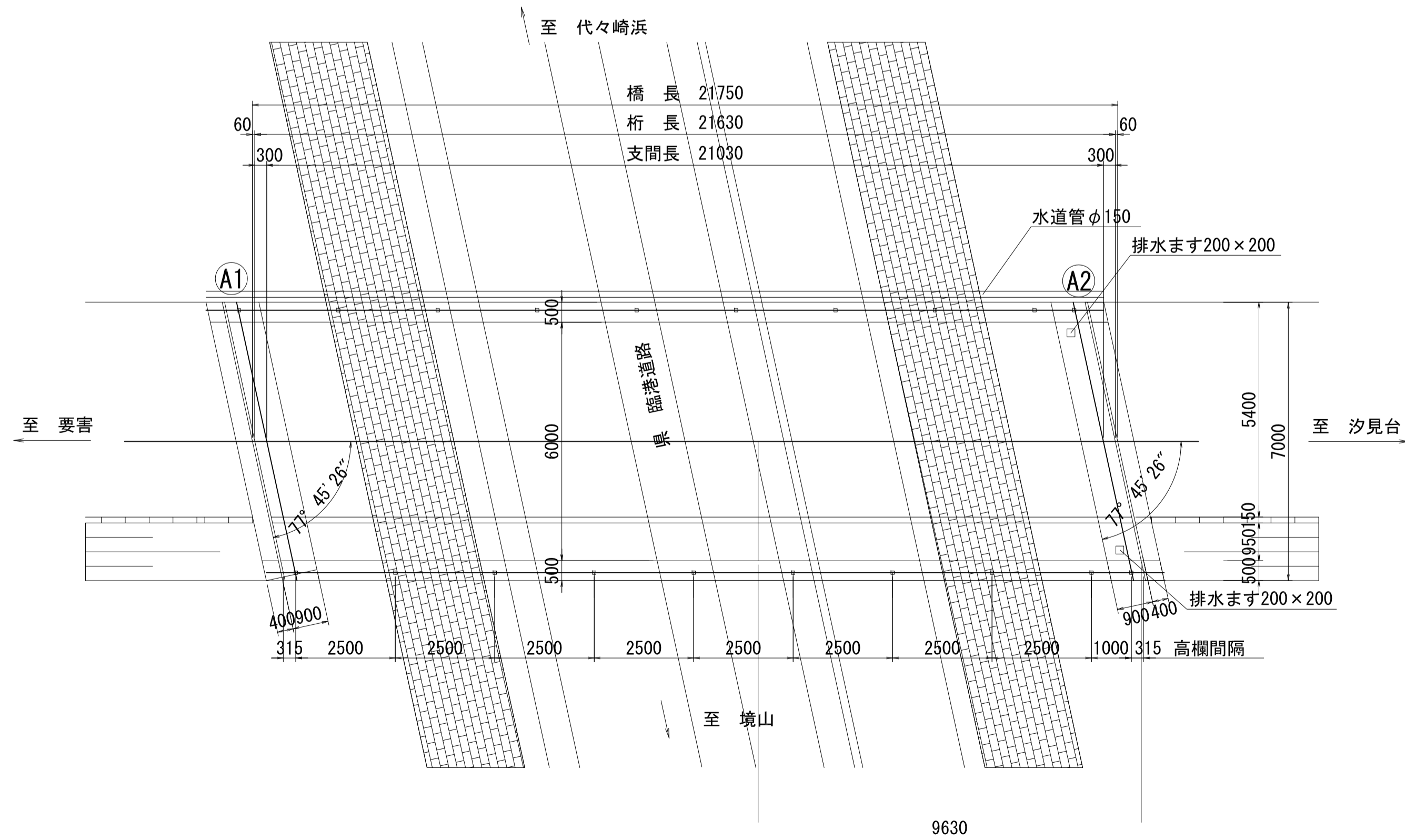
工事番号	七建第18-229号	
路線名	要害1号線	
施工地名	宮城県七ヶ浜町 東宮浜字小田 地内	
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事	
図面名	位置図	
縮尺	図示	位置 No. ~No.
設計者	設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番 1/19

要害1号1号橋 現況一般図 S=1:100

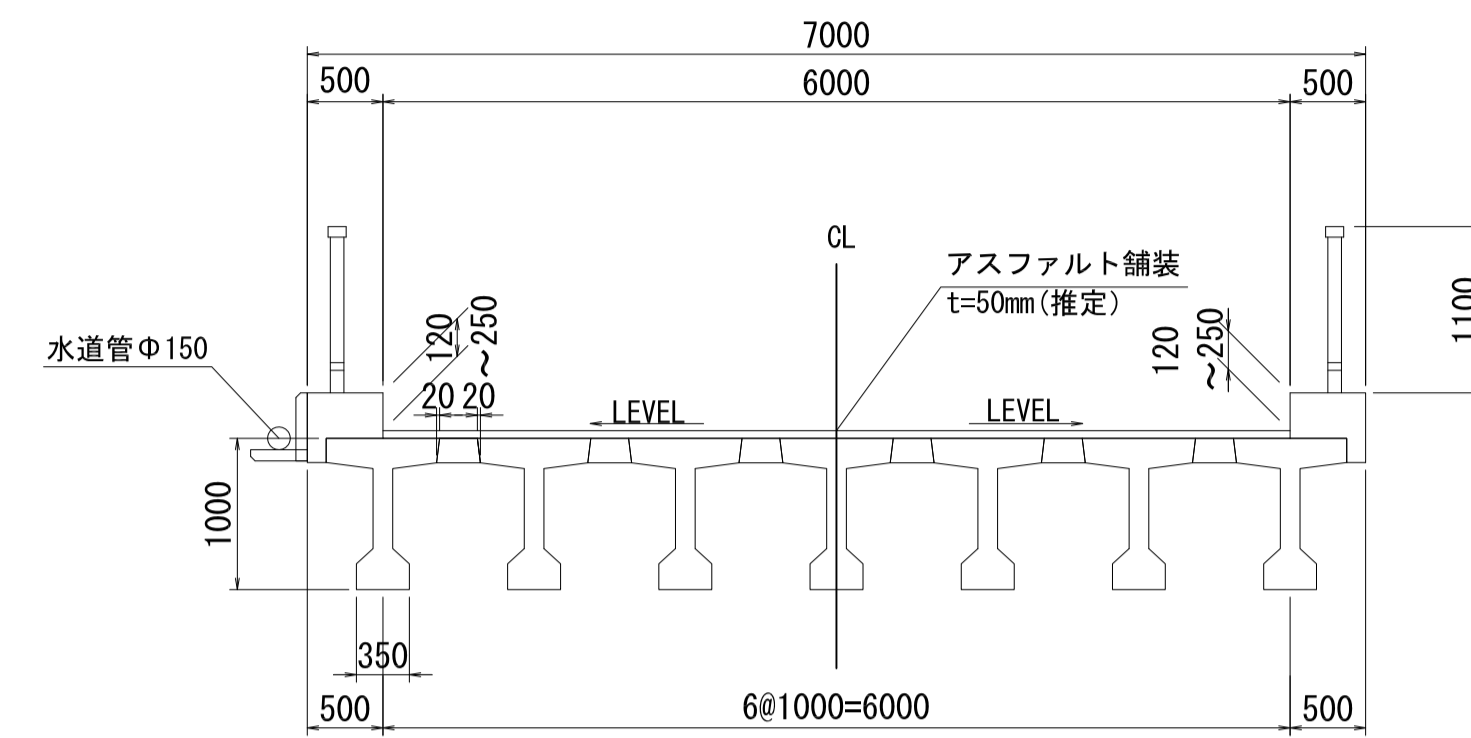
側面図



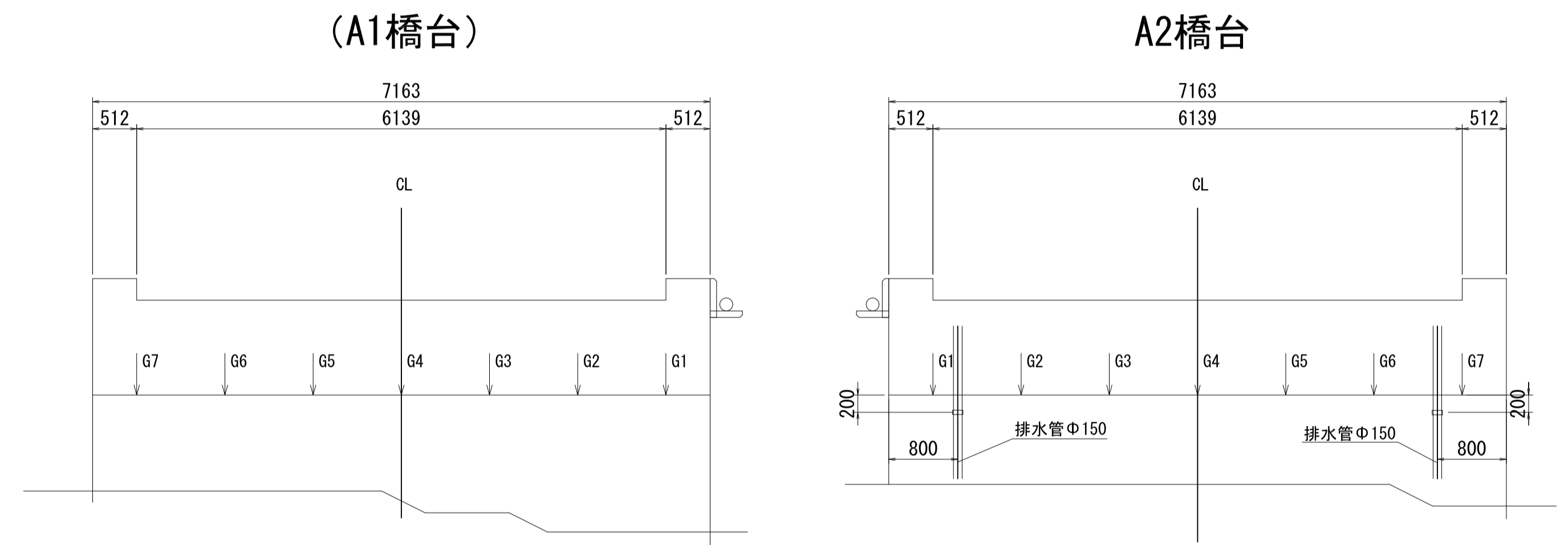
平面図



断面図 S=1:50



橋台正面図 S=1:50



橋梁諸元

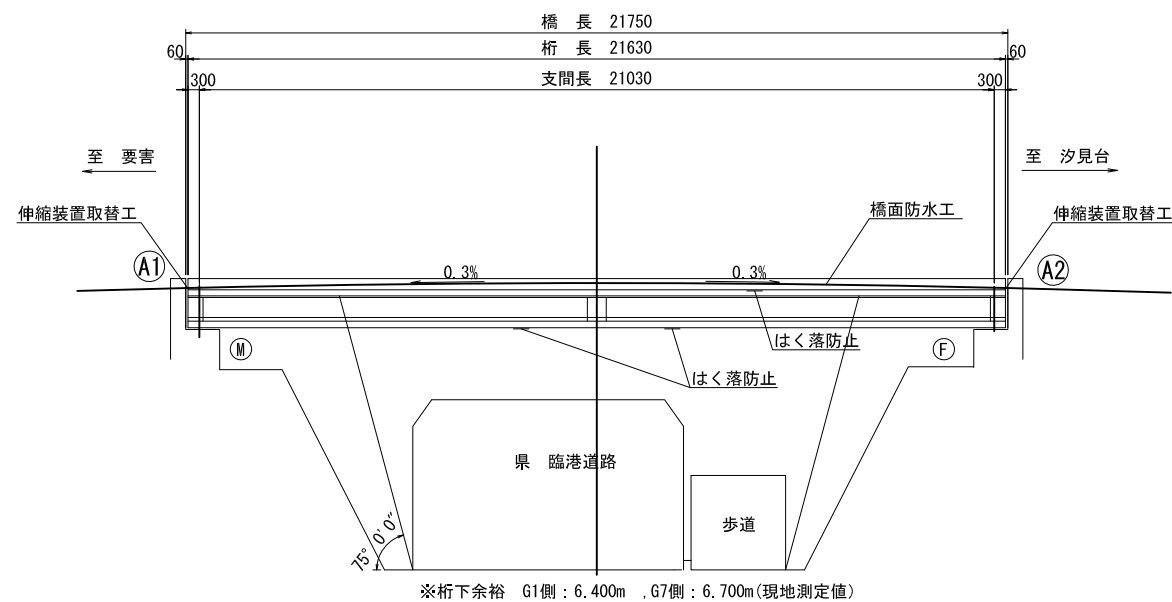
路線名	町道 要害1号線
位置	宮城県 七ヶ浜町東宮浜字小田 地内
道路規格	第3種 第4級
設計速度	V=30km/h
橋長	21.750m
桁長	21.630m
幅員構成	W=7.000m (0.50+6.00+0.500)
橋格	1等橋 (TL-20) : 推定
橋面舗装	アスファルト舗装 t=50mm : 推定
上部工型式	単純PCプレテンション方式T桁橋
下部工形式	不明
基礎	不明
支持地盤	不明
支承	ゴム支承
架設年月日	昭和53年
適用示方書	昭和44年 PC道示

工事番号	七建第18-229号	
路線名	要害1号線	
施工地名	宮城県 七ヶ浜町 東宮浜字小田 地内	
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事	
図面名	現況一般図	
縮尺	図示	位置 No. ~No.
設計者	設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番 2/19

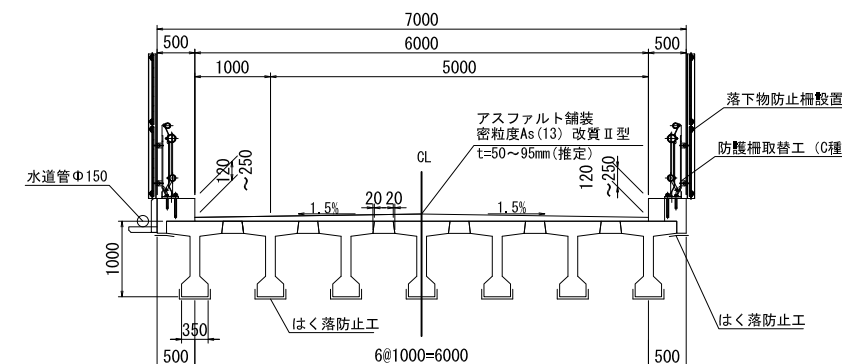
※この全体一般図は既往資料及び現地計測により復元したものである。

要害1号1号橋 補修一般図 S=1:100

側面図

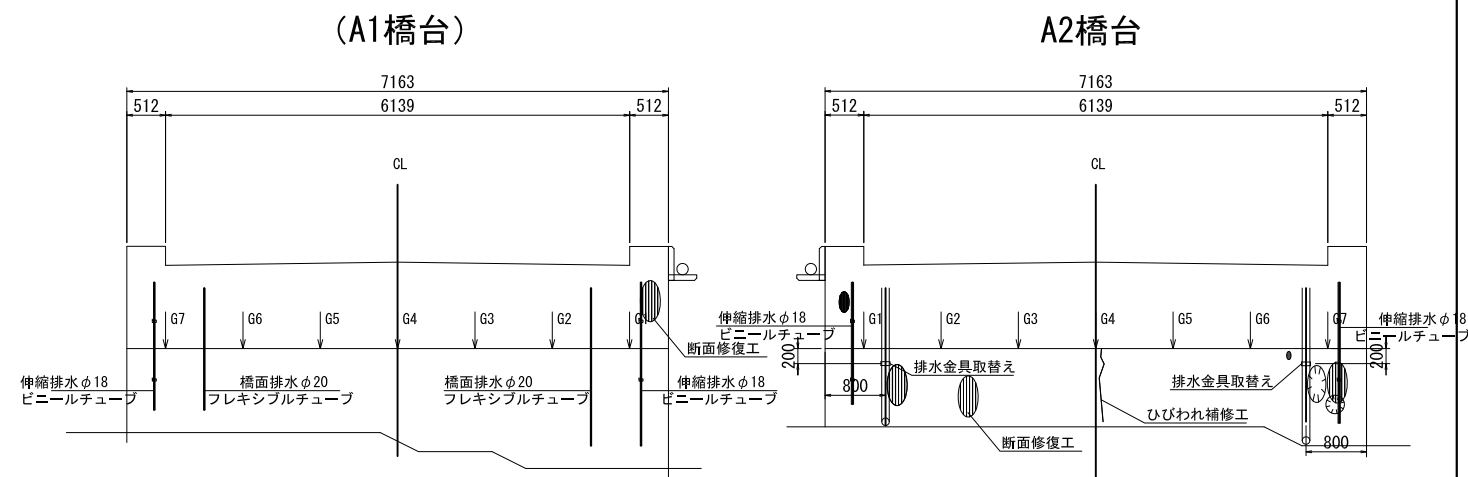


断面図 S=1:50

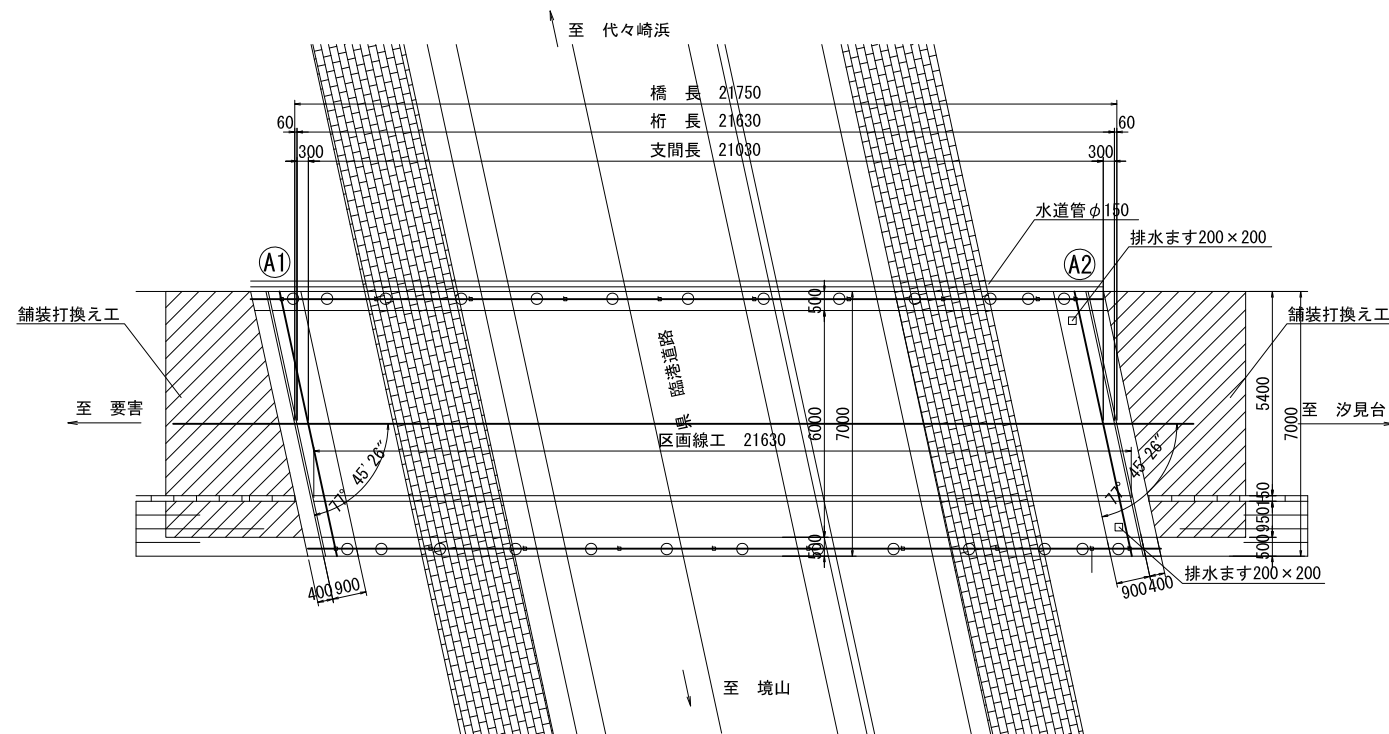


※横断面勾配をLEVEL→1.5%拌み勾配に変更する。

橋台正面図 S=1:50



平面図



補修項目一覧

項目	補強・補修箇所
橋梁補修工	
防護柵取替工	高欄兼用防護柵 (C種)
落下物防止柵設置工	(H=1.9m)
伸縮装置取替工	
橋面防水工	
ひびわれ補修工	ひびわれ注入工
断面修復工	
はく落防止工	
排水装置金具取替え	A2橋台側
橋面舗装工 (t=50mm)	密粒度アスファルト (13)改質II型
区画線工	
道路土工	
舗装打換え工 車道 (t=50mm)	再生密粒度アスファルト (20F)
歩道 (t=30mm)	再生細粒度アスファルト (13)

橋梁諸元

路線名	町道 要害1号線
位置	宮城県 七ヶ浜町東宮浜字小田 地内
道路規格	第3種 第4級
設計速度	V=30km/h
橋長	21.630m
桁長	21.630m
幅員構成	W=7.000m (0.50+6.00+0.50)
橋格	1等橋 (TL-20) : 推定
橋面舗装	アスファルト舗装 t=50mm : 推定
上部工型式	単純PCプレテンション方式T桁橋
下部工形式	不明
基礎	不明
支持地盤	不明
支承	ゴム支承
架設年月日	昭和53年
適用示方書	昭和44年 PC道示

※舗装は施工前に測量を行い現況にする付くように縦・横断面勾配を調整する必要がある。

※この全体一般図は既往資料及び現地計測により復元したものである。

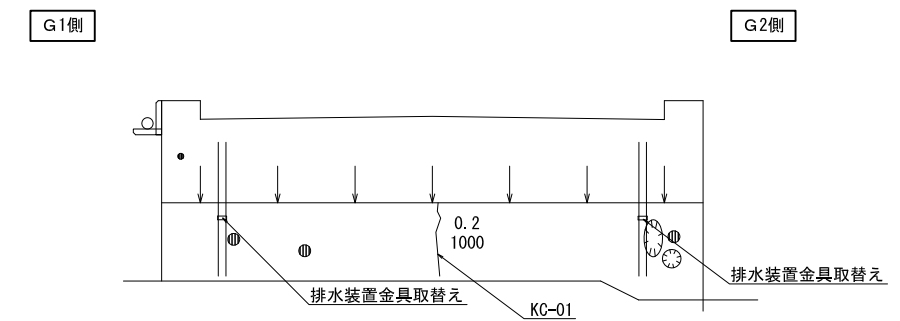
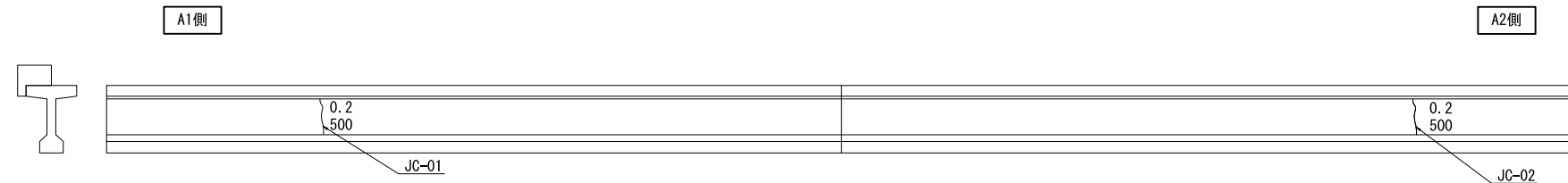
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県 七ヶ浜町 東宮浜字小田 地内	位置 No.	
工事名	平成30年度 要害1号1号橋補修工事	設計年度	平成30年
図面名	補修一般図		
縮尺	図示	位置 No.	
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町	図番	3/19	

要害1号1号橋 ひびわれ補修工詳細図(1)

(排水装置金物取替え)

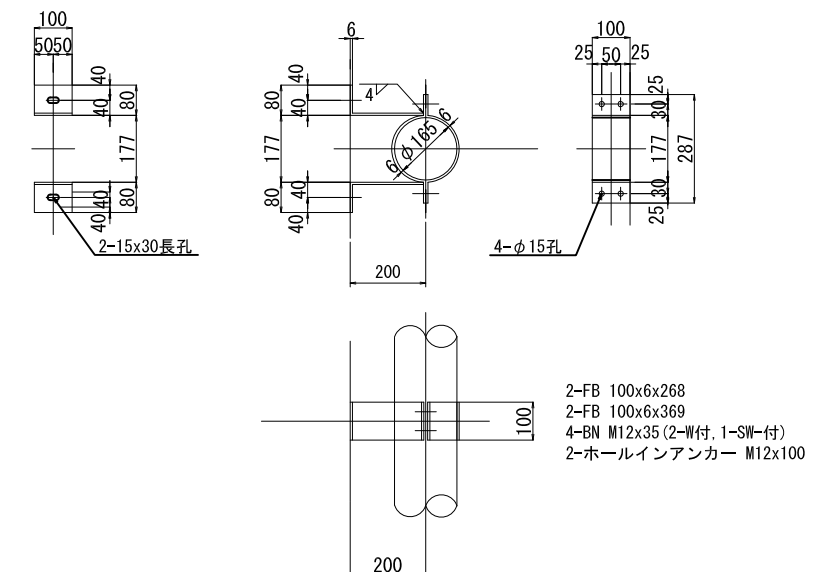
上部工主桁
(G1桁 外側)

橋台正面図
(A2橋台)



排水装置金具詳細図 S=1:10

(製作数:2)



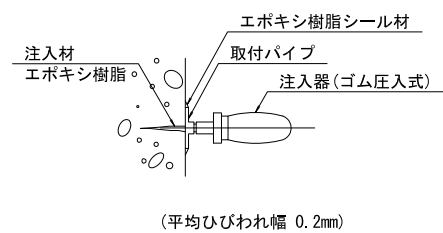
- 2-FB 100x6x268
- 2-FB 100x6x369
- 4-BN M12x35 (2-W付, 1-SW付)
- 2-ホールインアンカー M12x100

注記)

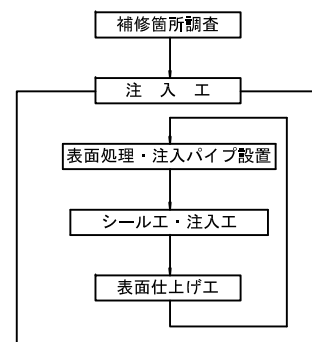
1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
2. 部材はすべて溶融亜鉛めっきを施す。付着量はJIS8641 HDZ55とする。ただし、ボルト・ナットの付着量はHDZ35とする。
3. ナットはすべて緩み止めナットを使用すること。

ひびわれ注入 詳細図

(低圧注入工法)



施工手順



ひびわれ注入数量表

部材	No.	延長 (m)	摘要
上部工	JC-01	0.5	ひびわれ幅=0.20mm
	JC-02	0.5	ひびわれ幅=0.20mm
豎壁	KC-01	1.0	ひびわれ幅=0.20mm
合計		2.0	

ひびわれ注入 数量表

1橋当り

名称	規格	単位	数量	摘要
注入材 (低圧注入工法)	エポキシ樹脂 1種	kg	0.04	ひびわれ幅 平均 W=0.20mm ひびわれ深さ PC: D=30mm ひびわれ深さ RC: D=150mm 1200kg/m ³
シール材	エポキシ樹脂	kg	0.5	1700kg/m ³
低圧注入器具		個	7	設置ピッチ 300mm

注記)

1. ひびわれ補修の範囲は、過年度橋梁点検及び現地調査に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
2. 劣化範囲の拡大や新たな劣化部がみられた場合には、施工範囲について監督職員と協議すること。

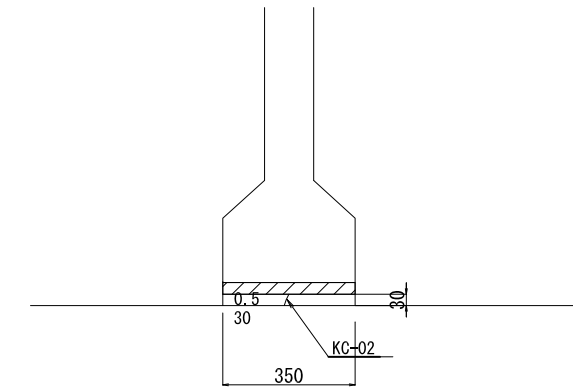
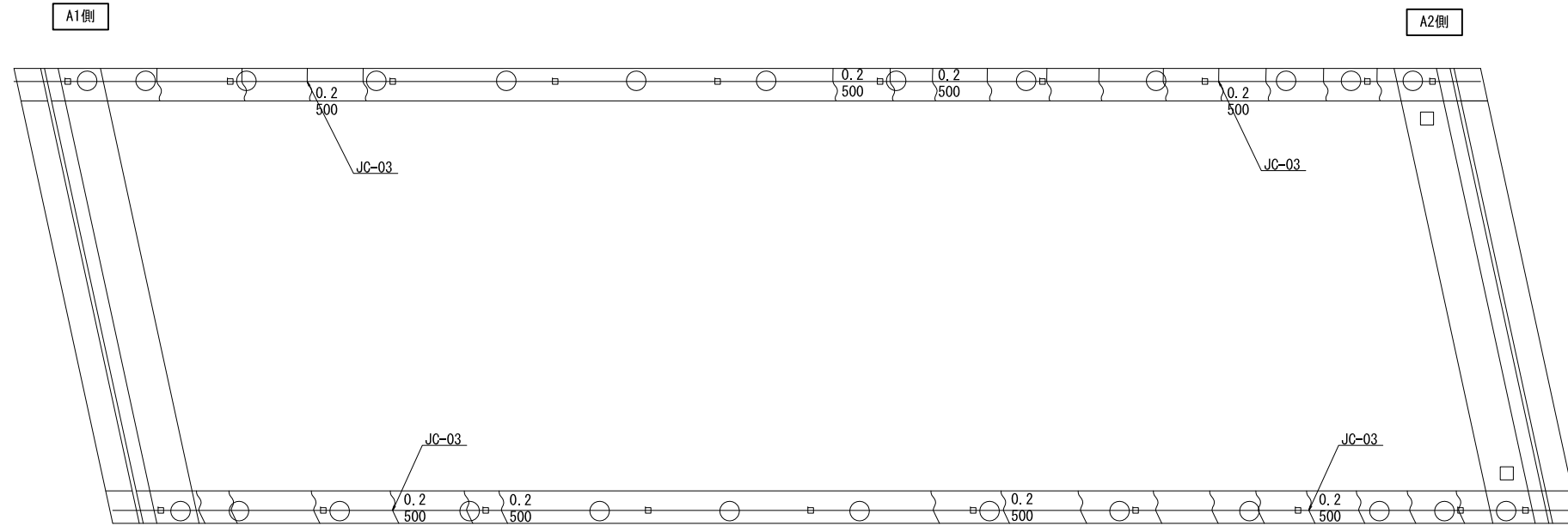
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城 七ヶ浜 区	東宮濱字小田 地内	
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	ひびわれ補修工詳細図(1)		
縮尺	図示	位置 No. ~No.	
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町	図番	4/19	

要害1号1号橋 ひびわれ補修工詳細図(2)

(地覆修繕工, 台座モルタル修繕工)

地覆部(30箇所)

台座モルタル



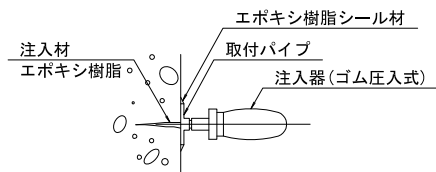
A1: G2, G3, G6
A2: G1, G6, G7

ひびわれ注入数量表

部材	延長(m)	摘要
台座モルタル	0.03 x 6 = 0.18	ひびわれ幅=0.50mm
合計	0.2	

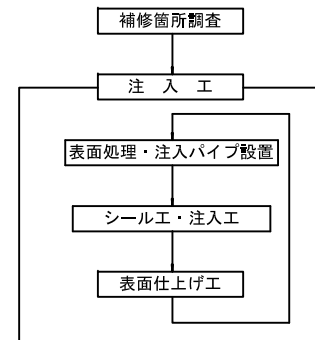
ひびわれ注入 詳細図

(低圧注入工法)



(平均ひびわれ幅 0.2mm)

施工手順



ひびわれ注入数量表

部材	No.	延長(m)	摘要
上部工	JC-03	0.5 x 30 = 15.0	ひびわれ幅=0.20mm
合計		15.0	

ひびわれ注入 数量表

1橋当り

名称	規格	単位	数量	摘要
注入材 (低圧注入工法)	エポキシ樹脂 1種	kg	0.11	ひびわれ幅 平均 W=0.20mm ひびわれ深さ RC: D=30mm 1200kg/m3
シーラ材	エポキシ樹脂	kg	3.9	1700kg/m3
低圧注入器具		個	51	設置ピッチ 300mm

注記

- ひびわれ補修の範囲は、過年度橋梁点検及び現地調査に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
- 劣化範囲の拡大や新たな劣化部がみられた場合には、施工範囲について監督職員と協議すること。

工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	ひびわれ補修工詳細図(2)		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	5/19

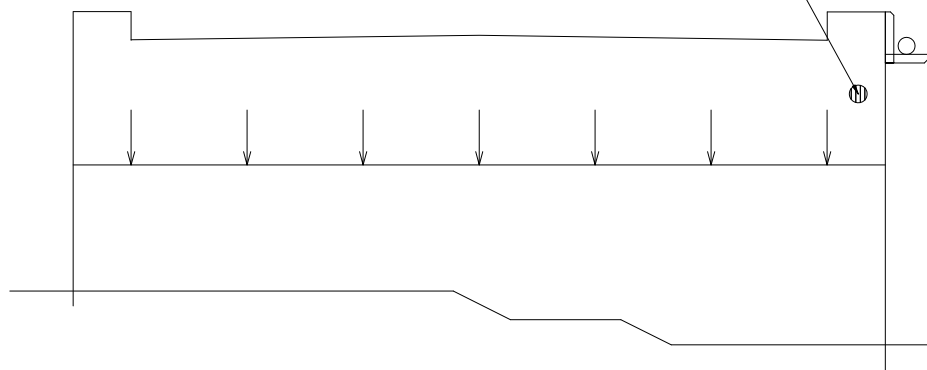
要害1号1号橋 断面修復工詳細図(1)

(下部工)

正面図

A1橋台

KD1-01, 02, 03
150 x 150, 150 x 150, 150 x 450



A2橋台

KD1-04
100 x 150

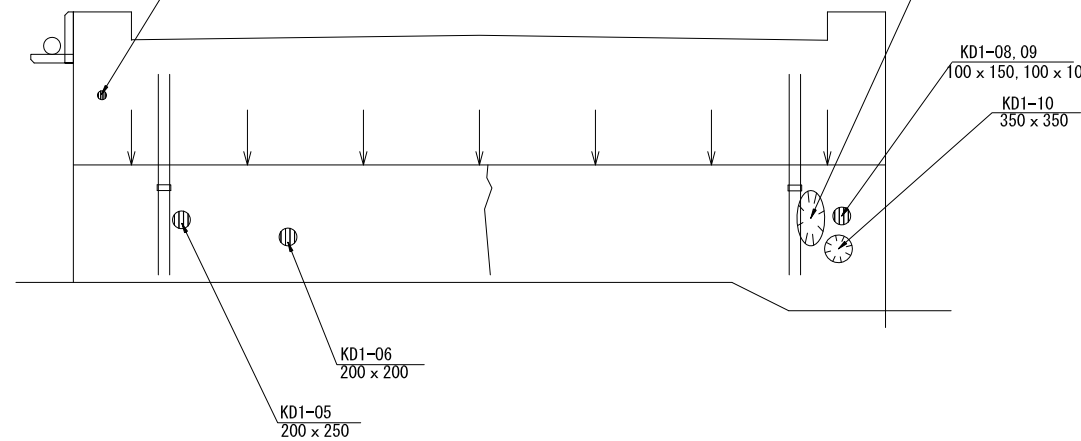
KD1-07
200 x 350

KD1-08, 09
100 x 150, 100 x 100

KD1-10
350 x 350

KD1-06
200 x 200

KD1-05
200 x 250



断面修復工 数量表 (鉄筋ケレン・防錆処理含む) 1橋当たり

損傷箇所	No.	W x L x 平均深さ (m)	V (m3)
下部工	KD1-01	0.150 x 0.150 x 0.080	0.0018
	KD1-02	0.150 x 0.150 x 0.080	0.0018
	KD1-03	0.150 x 0.450 x 0.080	0.0054
	KD1-04	0.100 x 0.150 x 0.080	0.0012
	KD1-05	0.200 x 0.250 x 0.080	0.0040
	KD1-06	0.200 x 0.200 x 0.080	0.0032
	KD1-08	0.100 x 0.150 x 0.080	0.0012
	KD1-09	0.100 x 0.100 x 0.080	0.0008
	施工量合計		

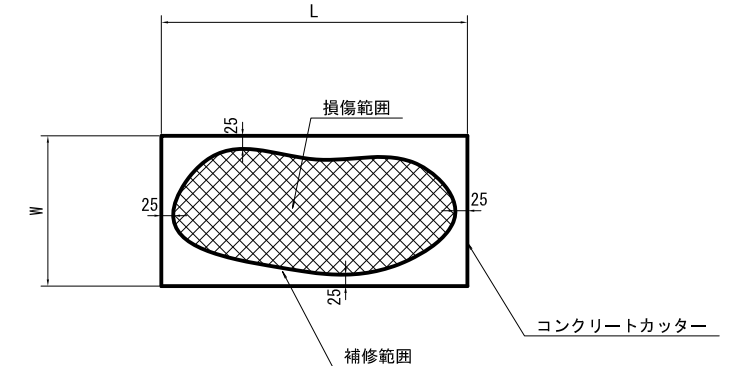
断面修復工 数量表 (鉄筋ケレン・防錆処理含まない) 1橋当たり

損傷箇所	No.	W x L x 平均深さ (m)	V (m3)
下部工	KD1-07	0.200 x 0.350 x 0.030	0.0021
	KD1-10	0.350 x 0.350 x 0.030	0.0037
施工量合計			0.0058

はつり 数量表 1橋当たり

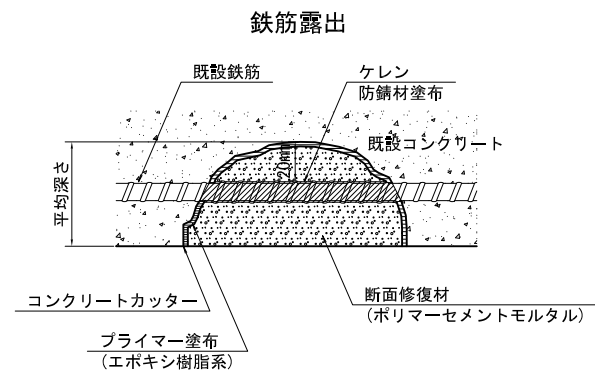
損傷箇所	施工量合計	V (m3)
下部工		0.0252

断面修復範囲図

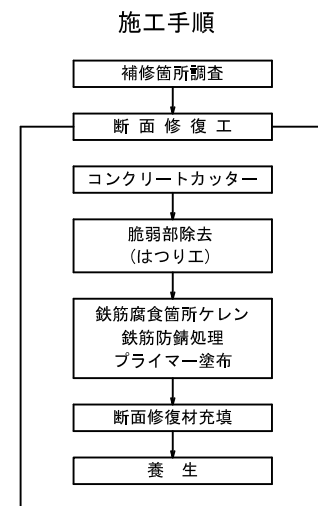


※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

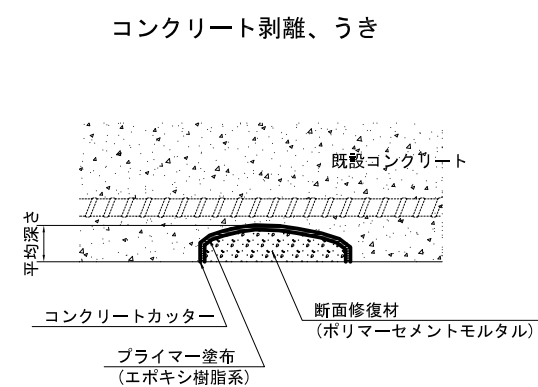
断面修復工詳細図(参考)
(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)



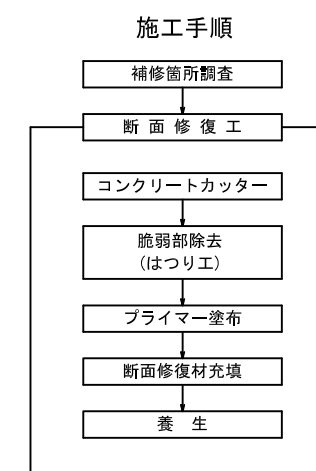
- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。



断面修復工詳細図(参考)
(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない場合)



- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。



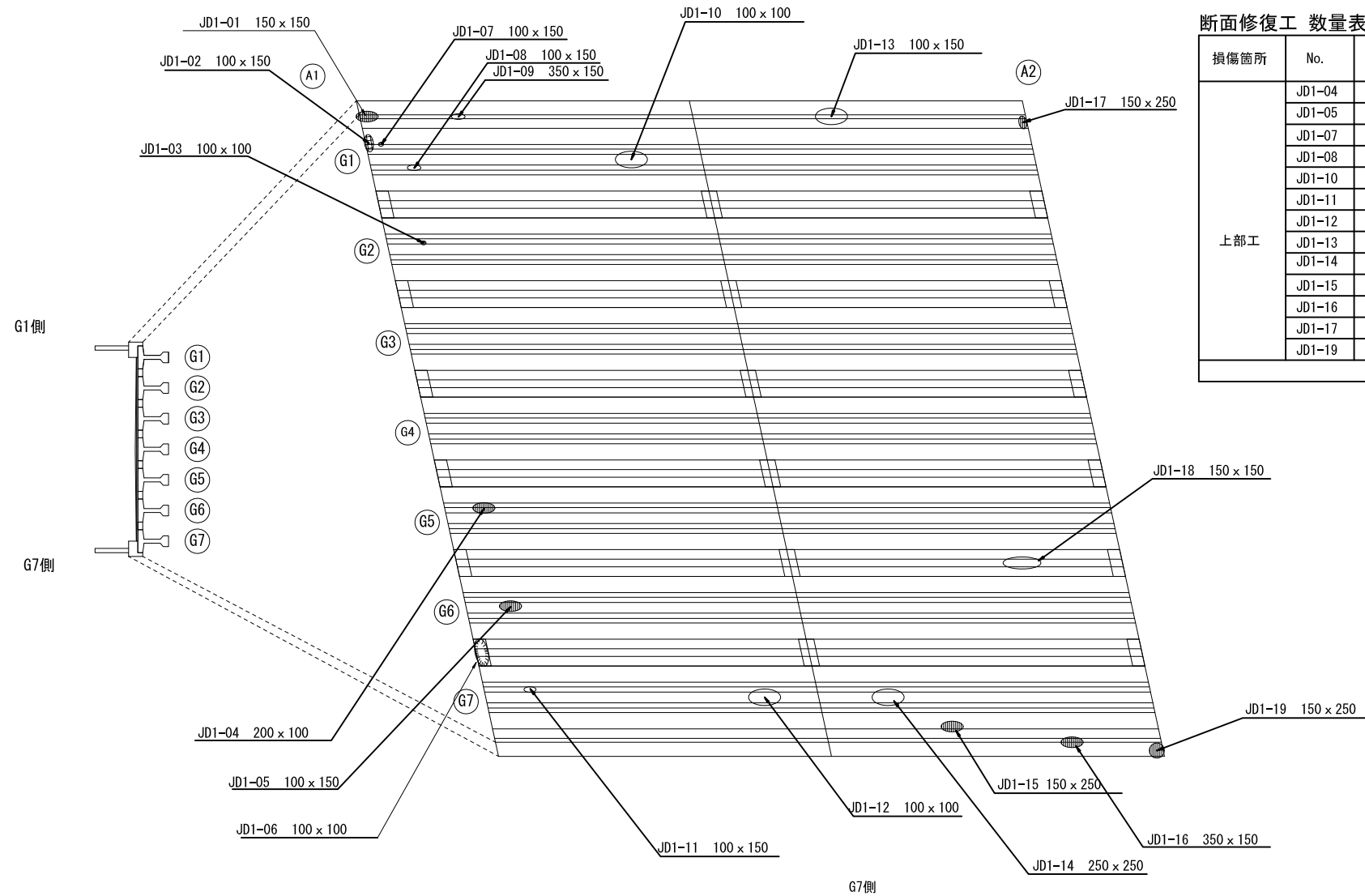
- <注記>
- 施工時は、現地寸法を確認のこと。
 - 本図以外の箇所でも同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
 - 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため、劣化状況を確認すること。

工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県七ヶ浜町	東宮浜字小田	地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	断面修復工詳細図(1)		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	6/19

要害1号1号橋 断面修復工詳細図(2)

(上部工)

G1側



断面修復工 数量表 (鉄筋ケレン・防錆処理含む) 1橋当り

損傷箇所	No.	W × L × 平均深さ (m)	V (m ³)	備考	
上部工	JD1-04	0.200 × 0.100 × 0.050	0.0010	下フランジ (鉄筋)	
	JD1-05	0.100 × 0.150 × 0.030	0.0005	下フランジ (金棒)	
	JD1-07	0.100 × 0.150 × 0.050	0.0008	張出し (鉄筋)	
	JD1-08	0.100 × 0.150 × 0.030	0.0005	下フランジ (金板)	
	JD1-10	0.100 × 0.100 × 0.030	0.0003	下フランジ (金板)	
	JD1-11	0.100 × 0.150 × 0.030	0.0005	下フランジ (金板)	
	JD1-12	0.100 × 0.100 × 0.030	0.0003	下フランジ (金板)	
	JD1-13	0.100 × 0.150 × 0.050	0.0008	張出し (鉄筋)	
	JD1-14	0.250 × 0.250 × 0.030	0.0019	下フランジ (金板)	
	JD1-15	0.150 × 0.250 × 0.050	0.0019	ウェブ (鉄筋)	
	JD1-16	0.350 × 0.150 × 0.050	0.0026	張出し (鉄筋)	
	JD1-17	0.150 × 0.250 × 0.050	0.0019	張出し (鉄筋)	
	JD1-19	0.150 × 0.250 × 0.050	0.0019	張出し (鉄筋)	
	施工量合計			0.0149	

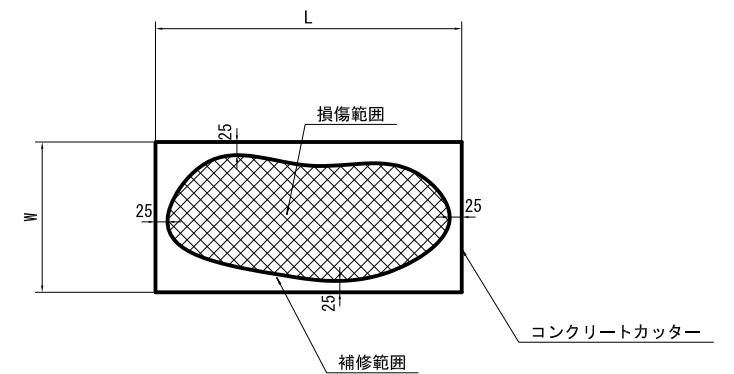
断面修復工 数量表 (鉄筋ケレン・防錆処理含まない) 1橋当り

損傷箇所	No.	W × L × 平均深さ (m)	V (m ³)	備考
上部工	JD1-01	0.150 × 0.150 × 0.050	0.0011	端部横締め
	JD1-02	0.100 × 0.150 × 0.030	0.0005	端部横締め (浮き)
	JD1-03	0.100 × 0.100 × 0.050	0.0005	下フランジ (剥落)
	JD1-05	0.100 × 0.150 × 0.030	0.0005	下フランジ (金棒)
	JD1-06	0.100 × 0.100 × 0.030	0.0003	横桁 (木片)
	JD1-09	0.350 × 0.150 × 0.030	0.0016	張出し (浮き)
	JD1-18	0.150 × 0.150 × 0.030	0.0007	下フランジ (剥落)
	施工量合計			0.0052

はつり 数量表 1橋当り

損傷箇所	V (m ³)
上部工	0.0201
施工量合計	0.0201

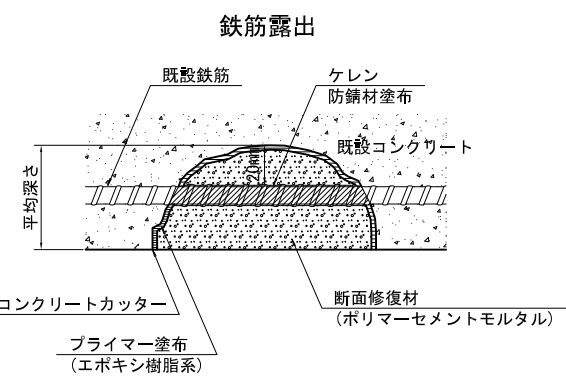
断面修復範囲図



※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

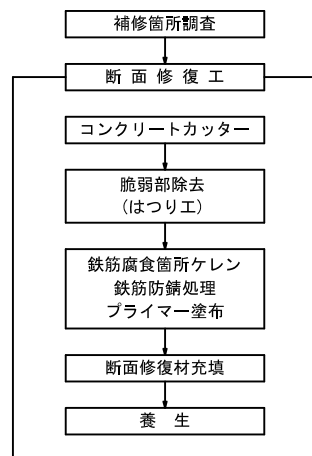
断面修復工詳細図(参考)

(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)



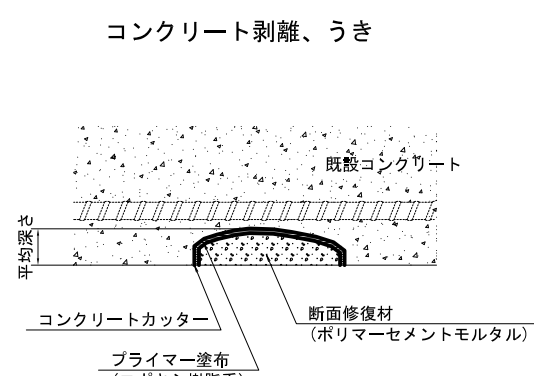
※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
 ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
 ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

施工手順



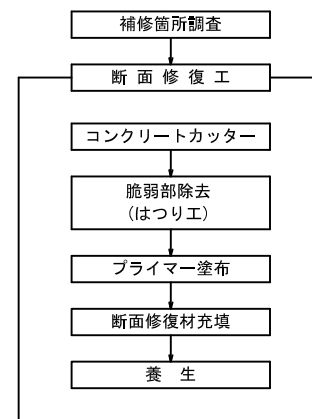
断面修復工詳細図(参考)

(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない場合)



※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。

施工手順



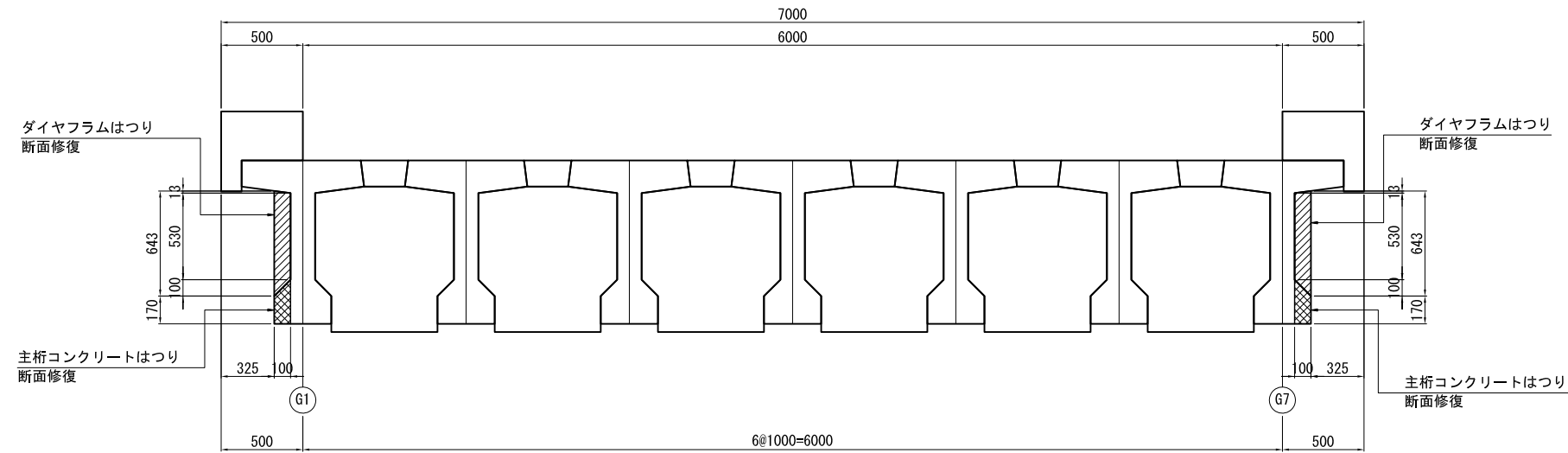
<注記>

1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
3. 脆弱部は、はつり落とすこと。
4. カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
5. 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため、劣化状況を確認すること。

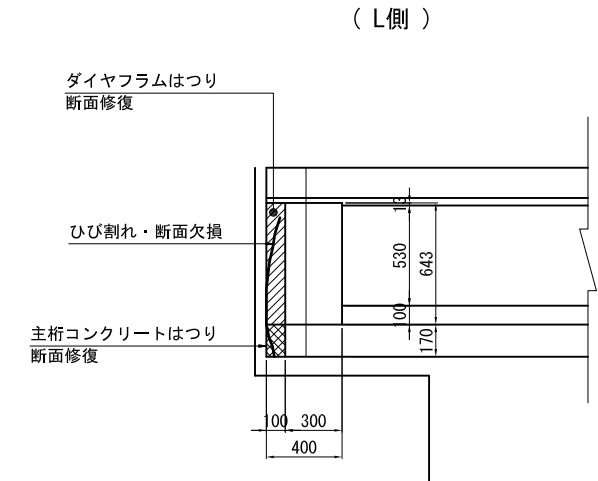
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県七ヶ浜市	東宮浜字小田	地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	全体一般図		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	7/19

要害1号1号橋 ダイヤフラム部 断面修復工詳細図

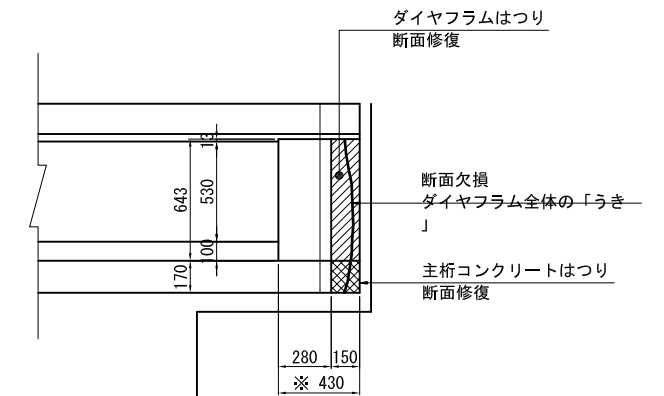
A2端支点断面図 S= 1:20



側面図 S= 1:20



(R側)



※ 現地踏査結果より

位置図



断面修復工 数量表

		高さ	幅	深さ	面積	体積	鉄筋腐食		備考
		H (mm)	B (mm)	t (mm)	A (m ²)	V (m ³)	N (本)	L (m)	
A2橋台	L側	807	100	100	0.081	0.008	-	-	ポリマーセメント系モルタル
	R側	807	150	100	0.121	0.012	-	-	〃

注1. 現地計測の上で寸法を決定すること。

2. 主桁のはつり箇所には主方向PC鋼材が存在する。この鋼材は定着具を持たないプレテンション鋼材であり、はつり時に露出しても問題はない。ただし断面修復時にはエポキシ樹脂塗装などの防錆処理を施すこと。

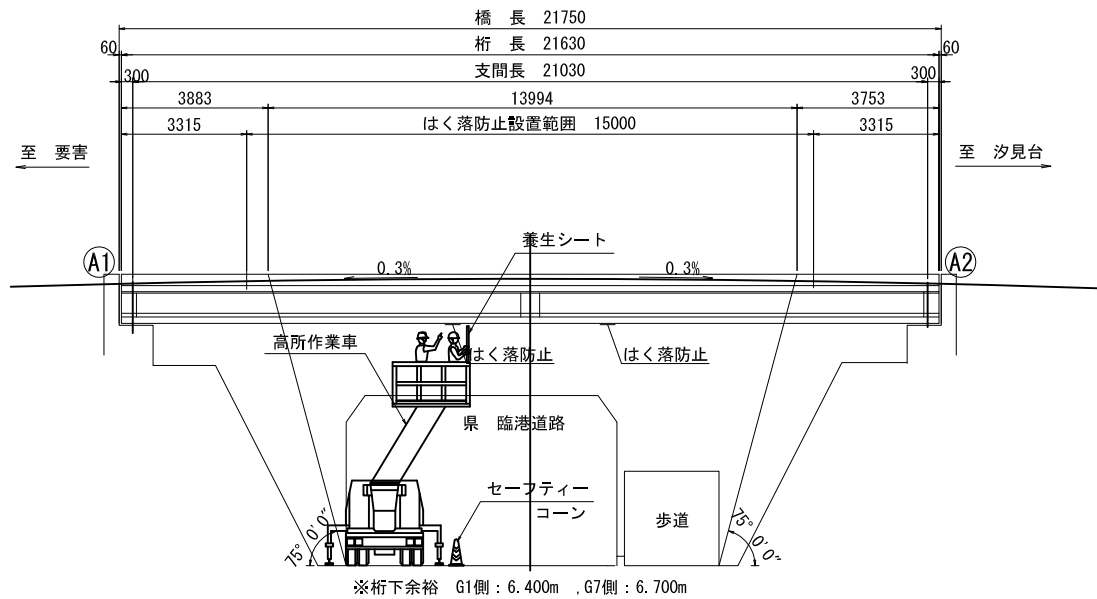
3. ダイヤフラムには横締めPC鋼材の定着具が埋め込まれている。撤去時にはこれを損傷しないように注意すること。また再構築時には、主方向鋼材と同様に防錆処理を施すこと。

4. 既設伸縮装置撤去時に、主桁上縁の状態を確認すること。ここでひび割れ等の損傷が確認された場合は、補修範囲の見直しも含めて監督員と協議すること。

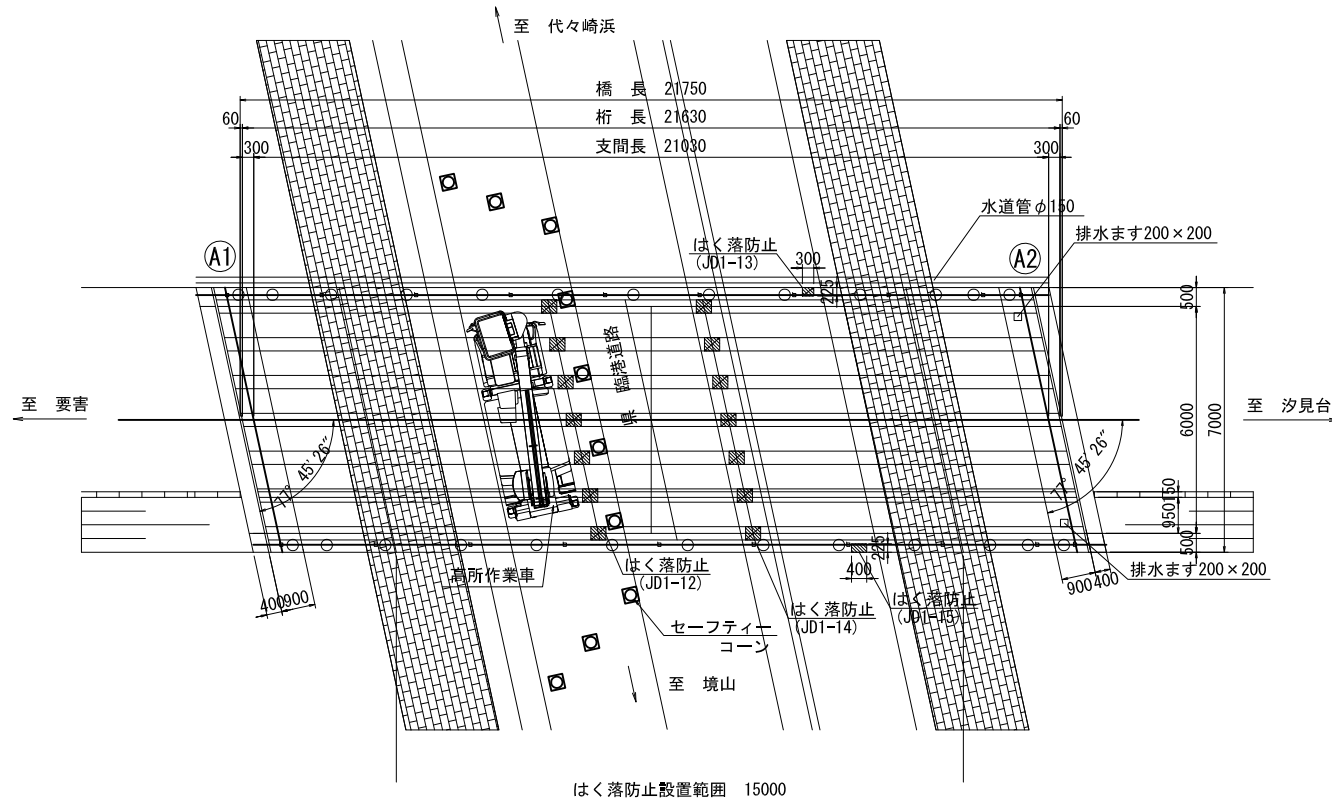
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	ダイヤフラム部 断面修復工詳細図		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計	平成30年
	宮城県七ヶ浜町	図番	8/19

要害1号1号橋 はく落防止工詳細図 S=1:100

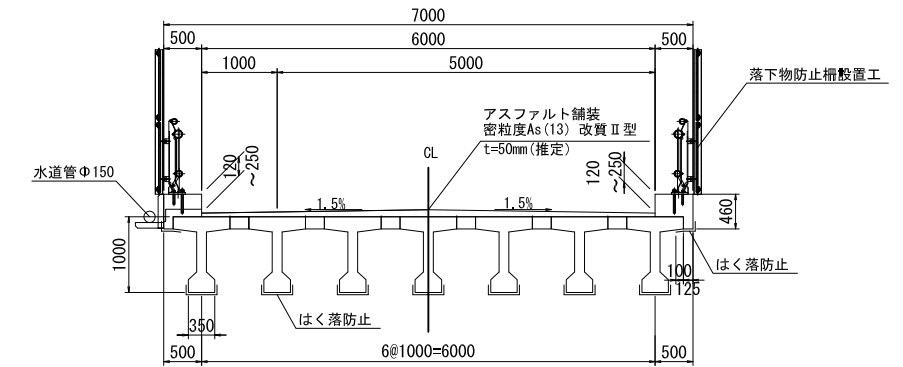
側面図



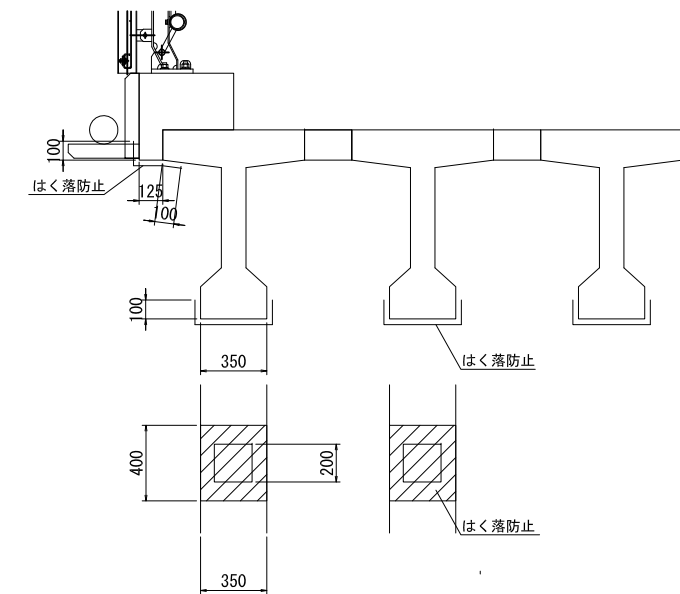
平面図



断面図 S=1:50



主桁下フランジはく落防止詳細図 S=1:20



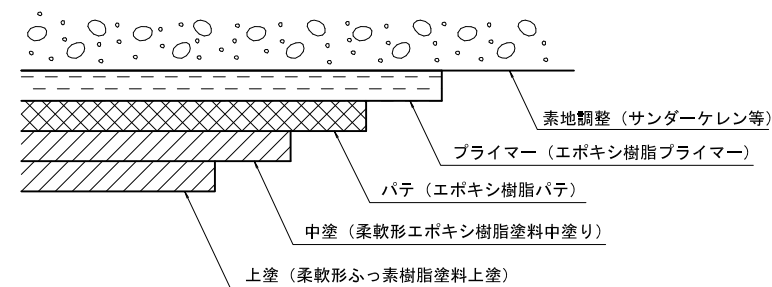
はく落防止工 単位数量表

箇所	規格	単位	数量	概要
素地調整	サンダーケレン等	m ²	100	
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	kg	10	0.10kg/m ²
パテ	エポキシ樹脂パテ	kg	50	0.50kg/m ²
中塗	柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	kg	180	1.80kg/m ²
上塗	柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	kg	12	0.12kg/m ²

はく落防止工数量

箇所	数量
張出し部(JD1-13)	0.325×0.250=0.08m ²
張出し部(JD1-15)	0.325×0.350=0.11m ²
主桁下面	(0.100+0.350+0.100)×0.400×14箇所=3.08m ²

はく落防止工 積層図

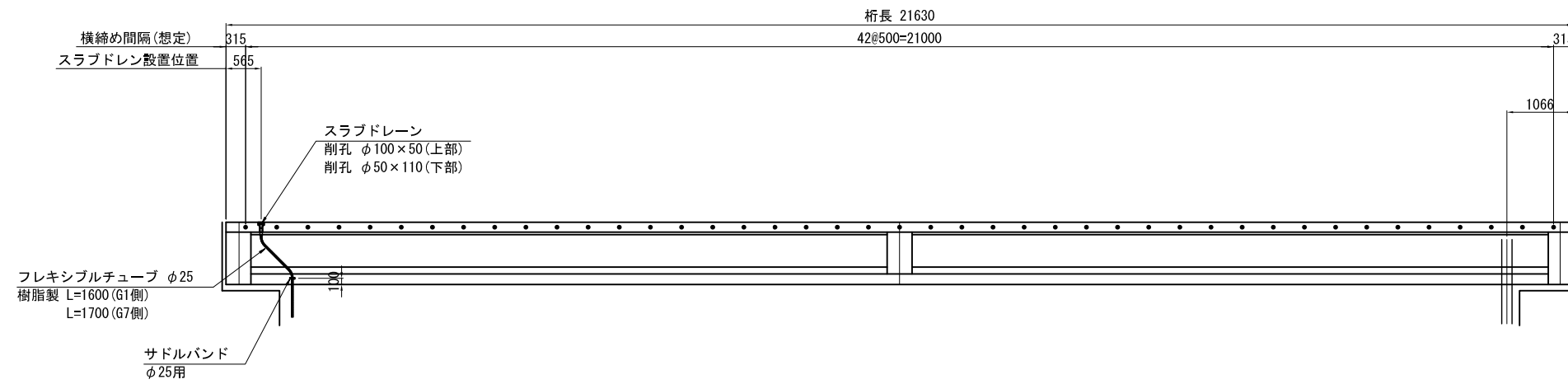


※この全体一般図は既往資料及び現地計測により復元したものである。

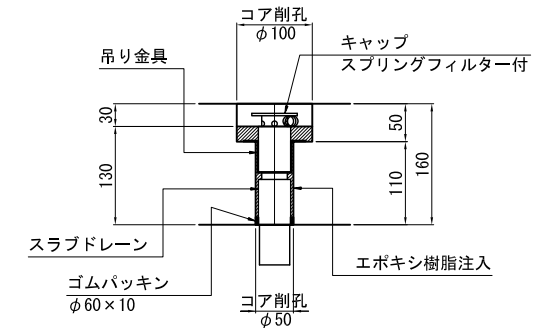
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	はく落防止工詳細図		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	9/19

要害1号1号橋 橋面防水工詳細図(その1)

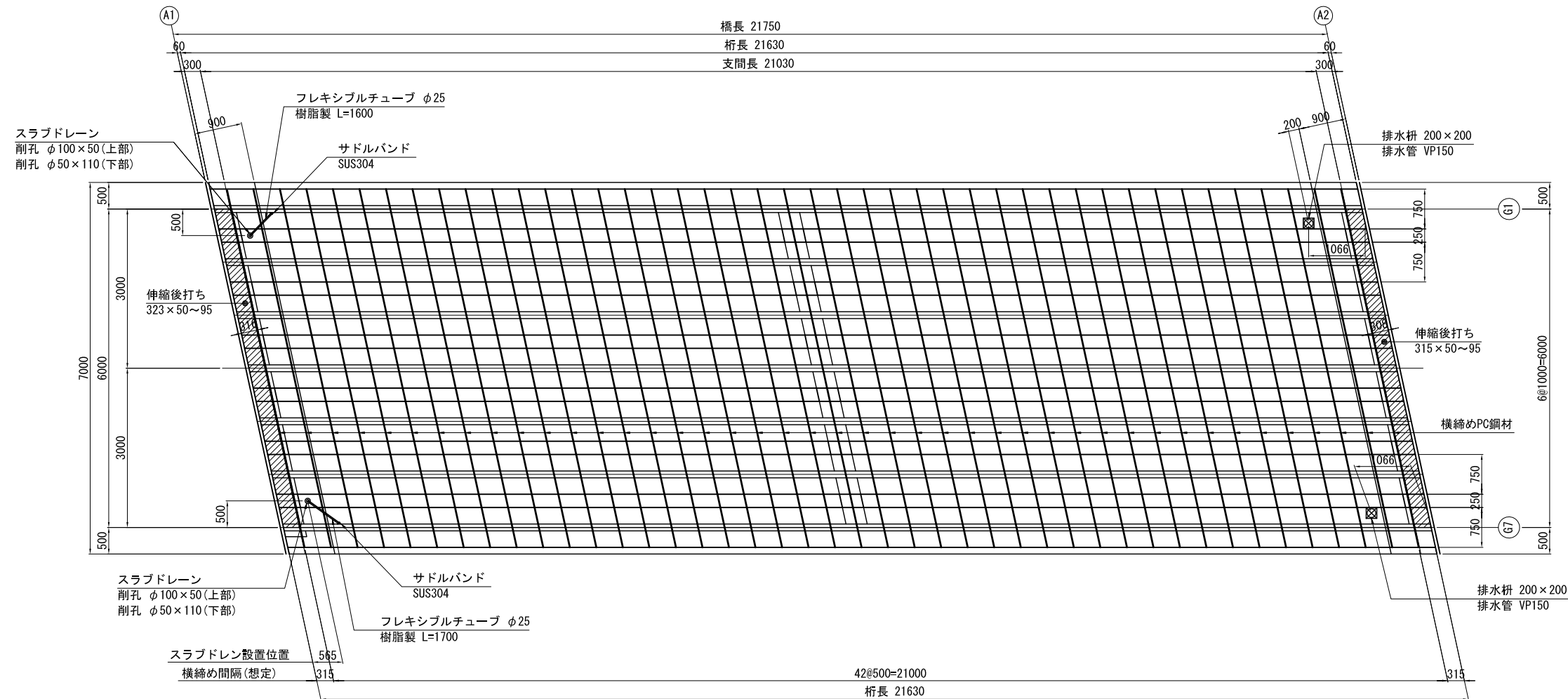
床版排水工側面図 S= 1:50



スラブドレーン取付詳細図 S= 1:5



床版排水工平面図 S= 1:50

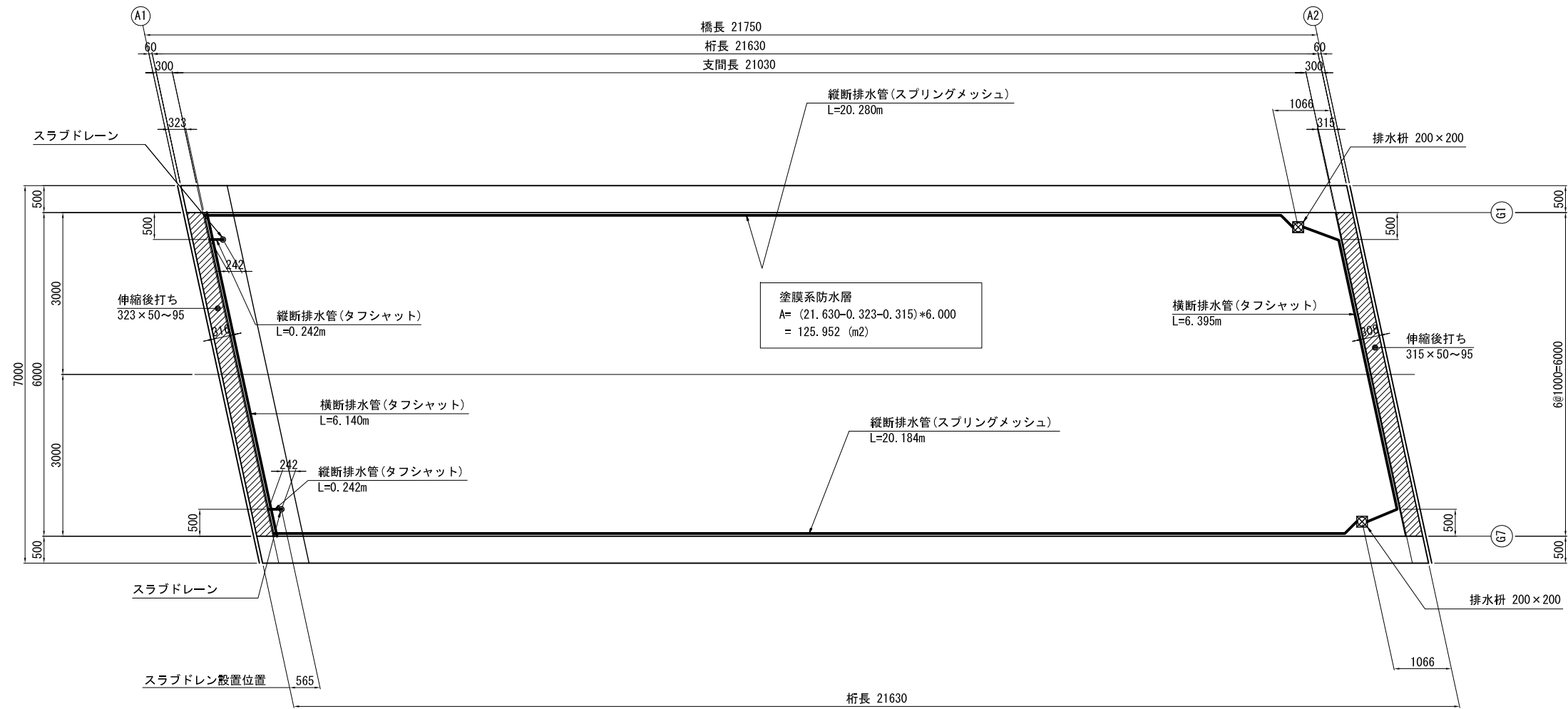


- 注1. 床版横締めPC鋼材位置は想定したものである。スラブドレーン用の削孔を行うにあたっては、横締めPC鋼材を切断しないよう注意すること。
2. 既設の排水管位置は、橋台壁位置より推定したものである。施工に先立って現地計測を行った上で材料手配を行うこと。
3. 現地計測の結果、設計通りの施工が困難であることが判明した場合には、監督員と協議すること。

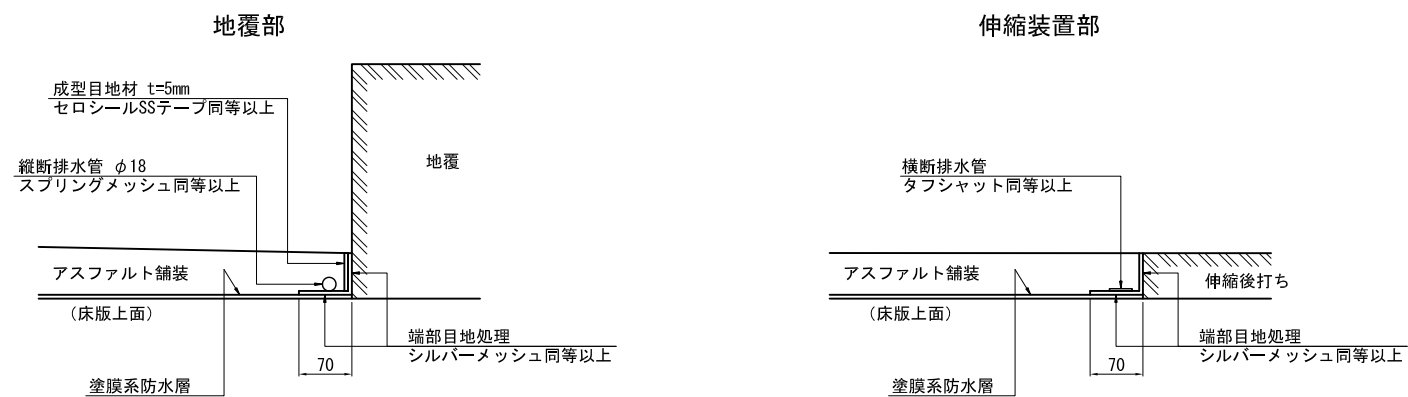
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	橋面防水工詳細図(その1)		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	10/19

要害1号1号橋 橋面防水工詳細図(その2)

床版防水工平面図 S= 1:50



端部処理詳細図 S= 1:10



注. A2側の縦断排水管(スプリングメッシュ)及び横断排水管(タフシャット)は排水樹に接続すること。接続にあたっては排水樹に削孔を行い、排水管を差し込んだ上でシールするものとする。

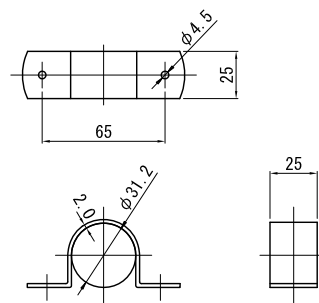
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	橋面防水工詳細図(その2)		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	11/19

要害1号1号橋 橋面防水工詳細図(その3)

サドルバンド詳細図

(SBN20PC同等品) n=2組

S= 1:2

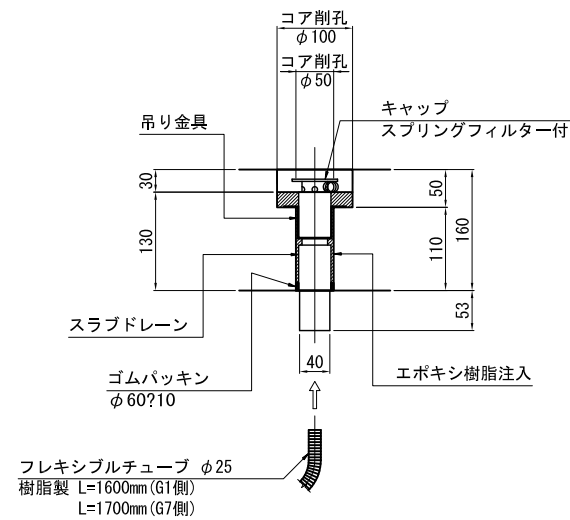


- xt20:1- サドルバンド (SUS304)
- 2- コンクリートアンカー M6 (SUS304, 1W付)

床版水抜きパイプ詳細図

既設取付タイプ n=2本

S= 1:5



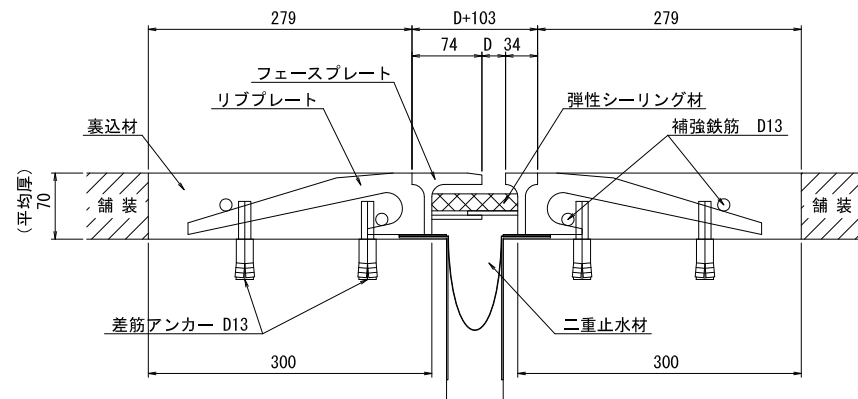
橋面防水工数量表

項目	仕様	単位	数量	備考	
橋面防水工	橋面防水層	塗膜系防水層	m ²	126.0	
	縦断排水管	スプリングメッシュ φ18	m	40.5	
		タフシャット導水テープ t=3mm	m	0.5	
	横断排水管	タフシャット導水テープ t=3mm	m	12.5	
	床版水抜きパイプ	スラブドレーン t=160用	箇所	2	既設取付タイプ
	フレキシブルチューブ φ25	L=1600	本	1	樹脂製
		L=1700	本	1	"
	取付金具	サドルバンド φ25用	組	2	
	コア削孔工	φ100×50	箇所	2	
		φ50×110	箇所	2	
樹脂注入工	エポキシ樹脂系	kg	0.5		
端部目地処理	シルバーメッシュテープ同等以上	m	54.3		
成型目地材	セロシールSSテープ同等以上	m	42.0		

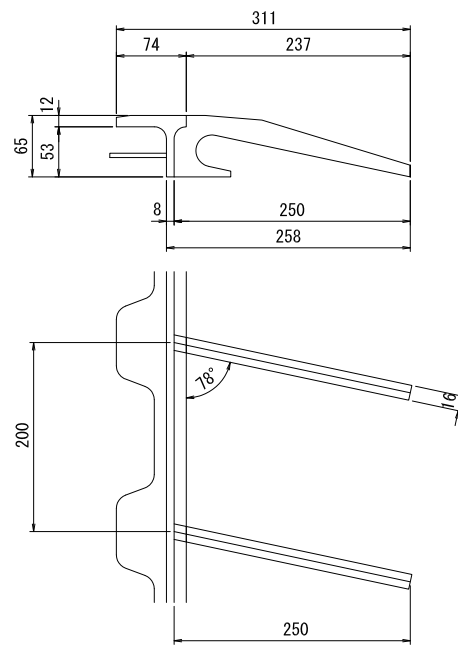
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県七ヶ浜町東宮浜字小田地区		
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	橋面防水工詳細図(その3)		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	12/19

要害1号1号橋 伸縮装置取替工図(1) [参考図]

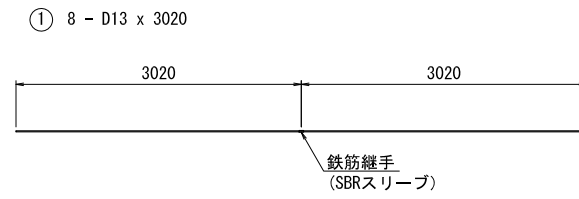
伸縮継手断面図 S=1:4
(伸縮量30mm)



リブプレート詳細図 S=1:4



鉄筋加工図 S=1:40



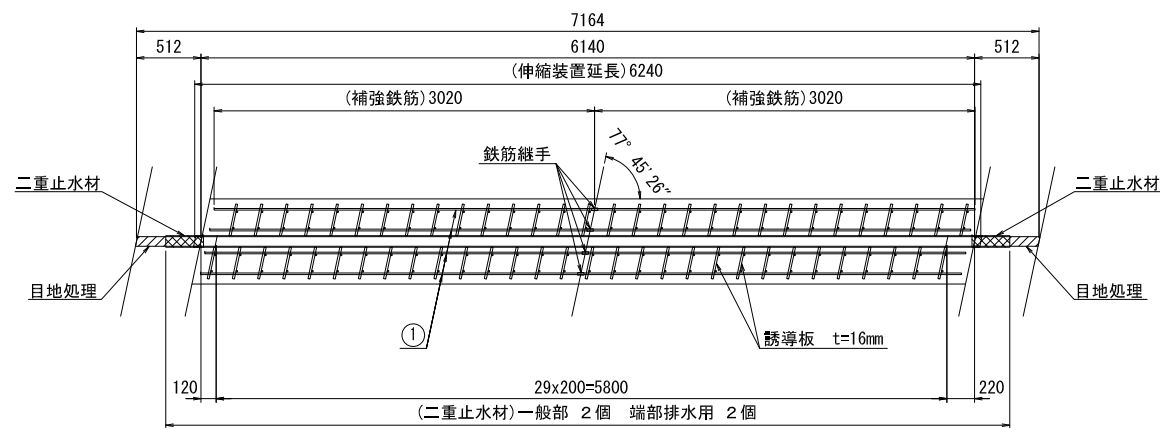
鉄筋質量表

番号	径	長さ	本数	単位重量	1本あたりの質量	質量	形状	材質	摘要
①	D13	3020	8	0.995	3.00	24	—	SD345	
						合計	24	kg	

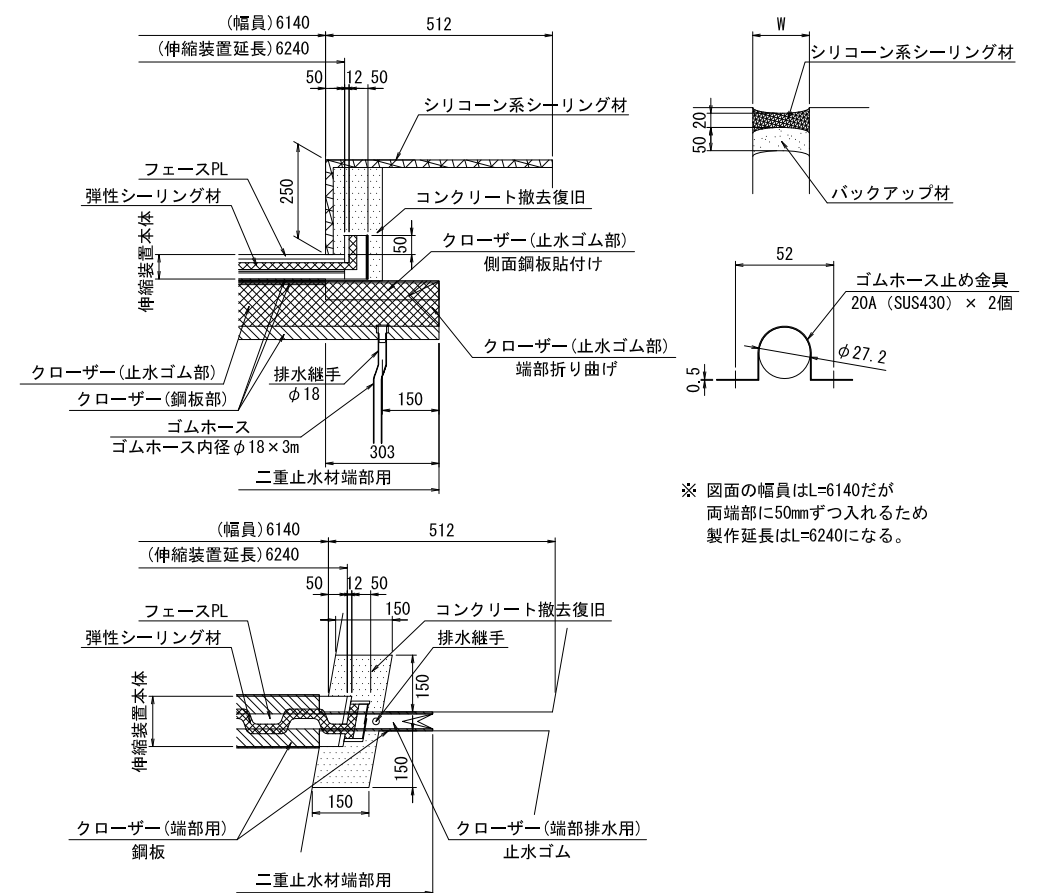
クローザー詳細図 (クローザーS)



平面配筋図 S=1:30

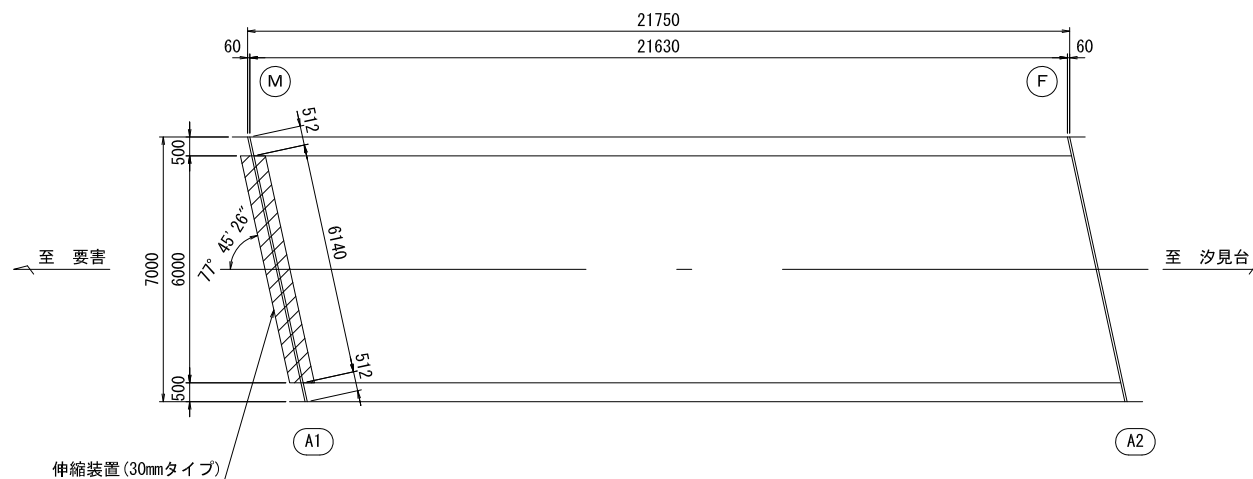


目地処理詳細図

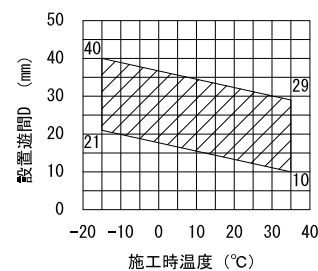


※ 図面の幅員はL=6140だが両端部に50mmずつ入れるため製作延長はL=6240になる。

位置図 S=1:100



設置遊間表



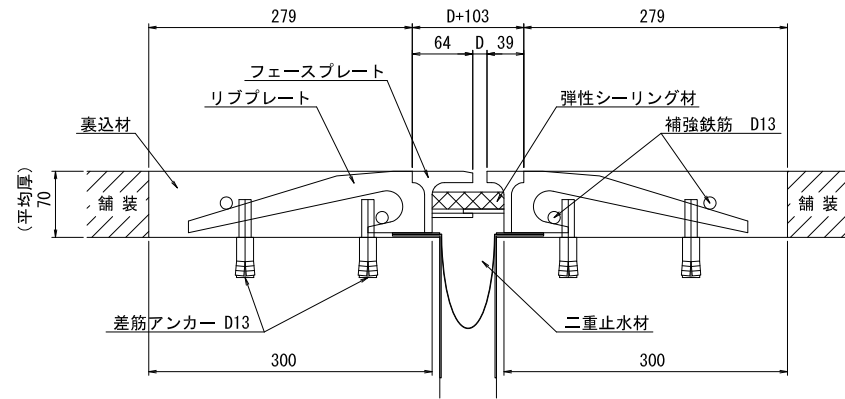
伸縮量: ΔL
 $\Delta L = 0.5 \times L \times \sin \theta + \text{余裕量}$
 $= 0.5 \times 21.6 \times \sin 78^\circ + 10$
 $= 21\text{mm}$
 (設置表は余裕量を除いた伸縮量とする)

1. 施工延長等は現場実測の上決定すること。
2. 遊間の測定時温度は10°Cとする。

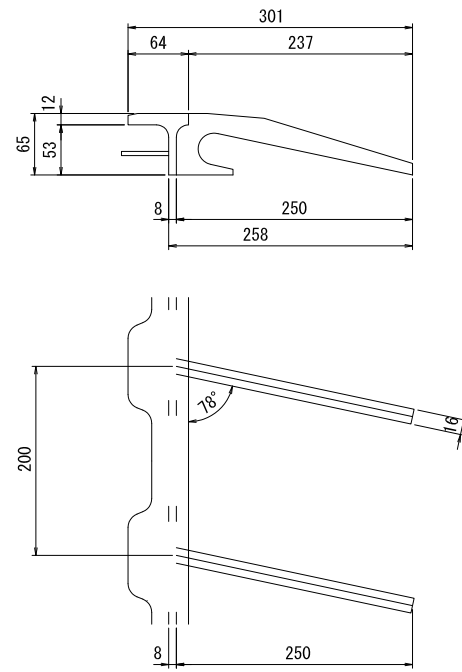
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県七ヶ浜町	東宮浜字小田	地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	伸縮装置取替工図(1) [参考図]		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	13/19

要害1号1号橋 伸縮装置取替工図(2) [参考図]

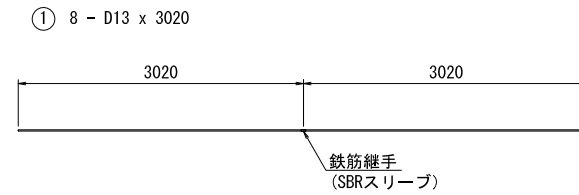
伸縮継手断面図 S=1:4
(伸縮量20mm)



リブプレート詳細図 S=1:4



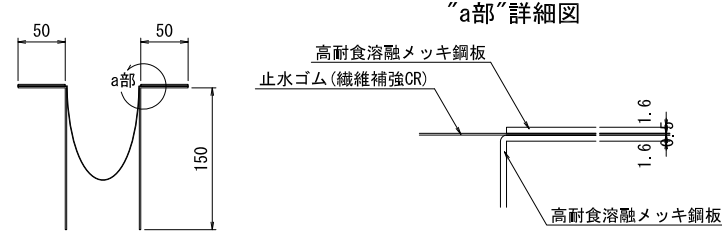
鉄筋加工図 S=1:40



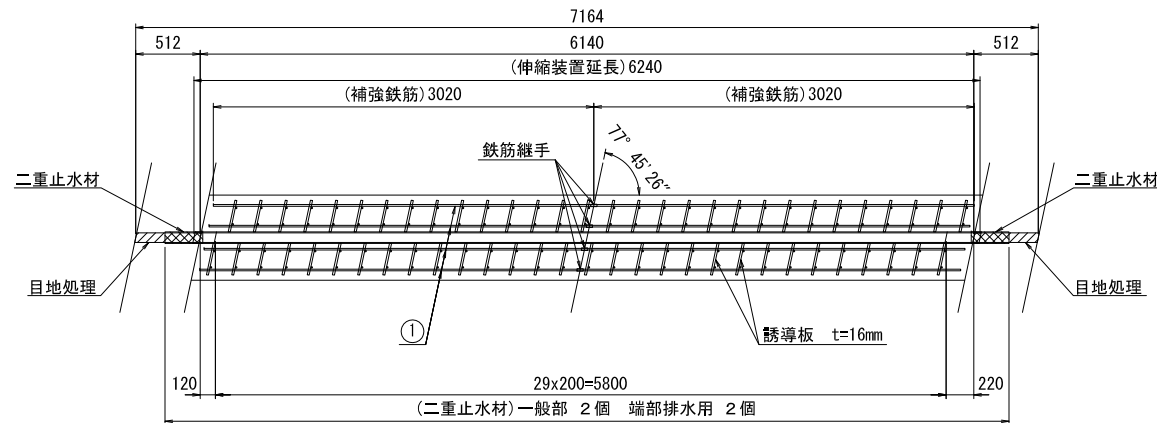
鉄筋質量表

番号	径	長さ	本数	単位重量	1本あたりの質量	質量	形状	材質	摘要
①	D13	3020	8	0.995	3.00	24	—	S0345	
						合計			24 kg

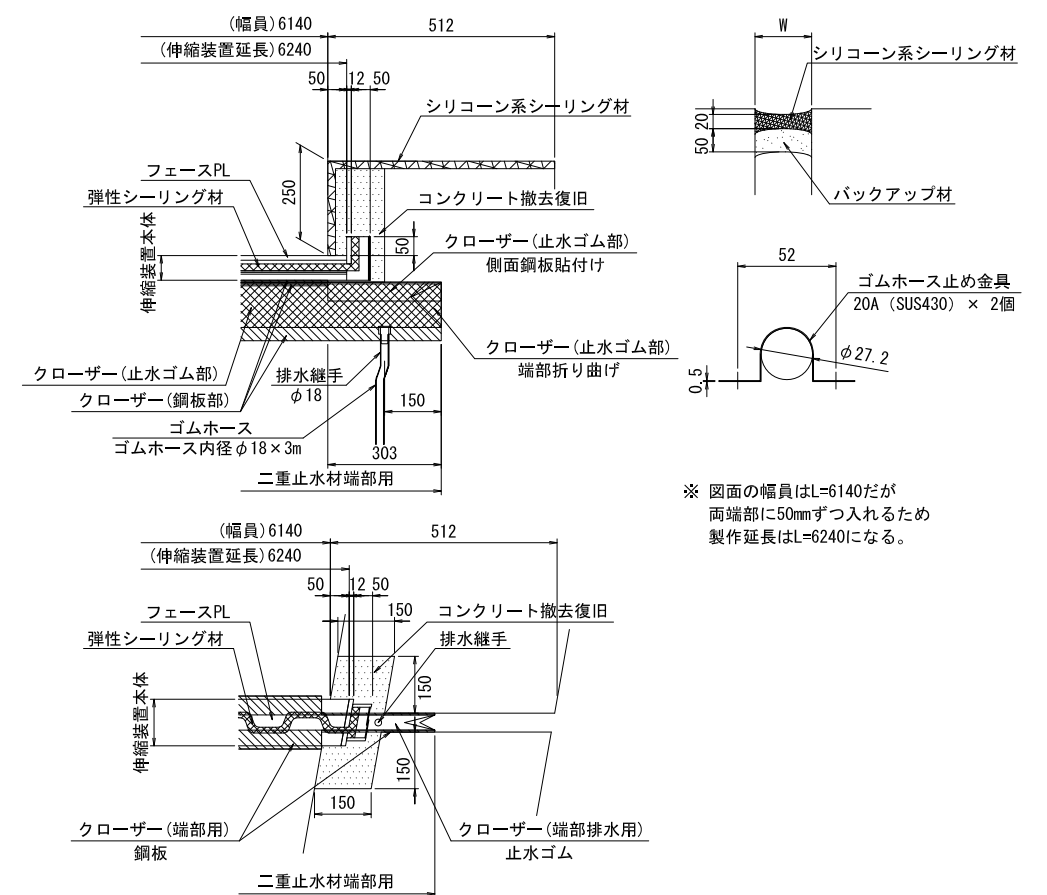
クローザー詳細図 (クローザー-S) "a部"詳細図



平面配筋図 S=1:30

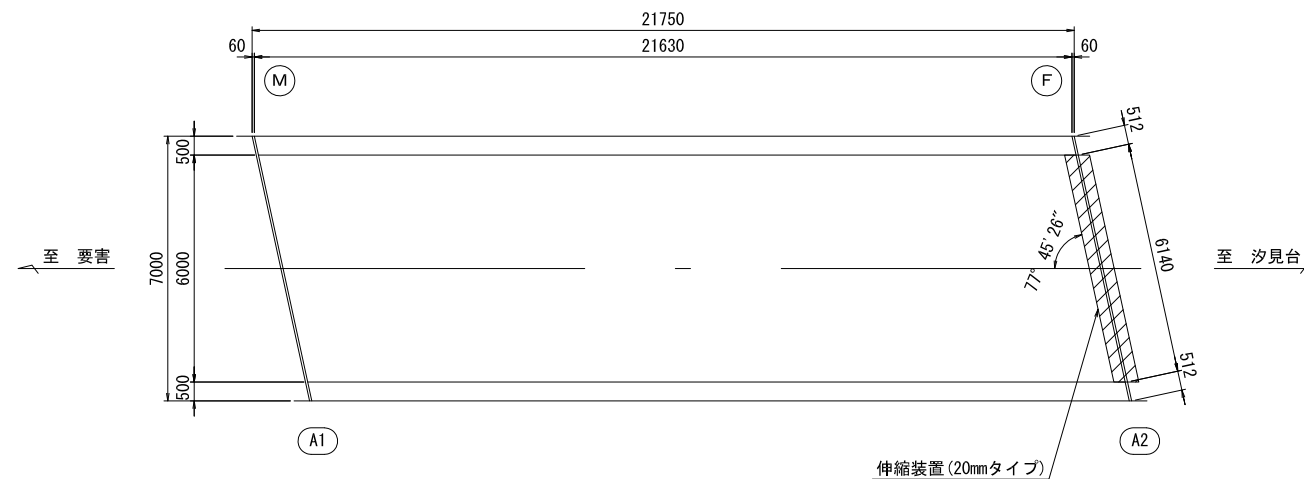


目地処理詳細図

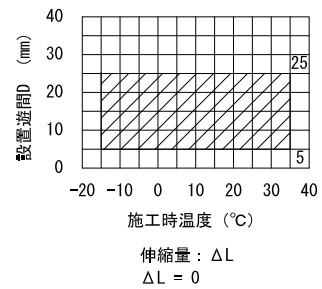


※ 図面の幅員はL=6140だが両端部に50mmずつ入れるため製作延長はL=6240になる。

位置図 S=1:100



設置遊間表

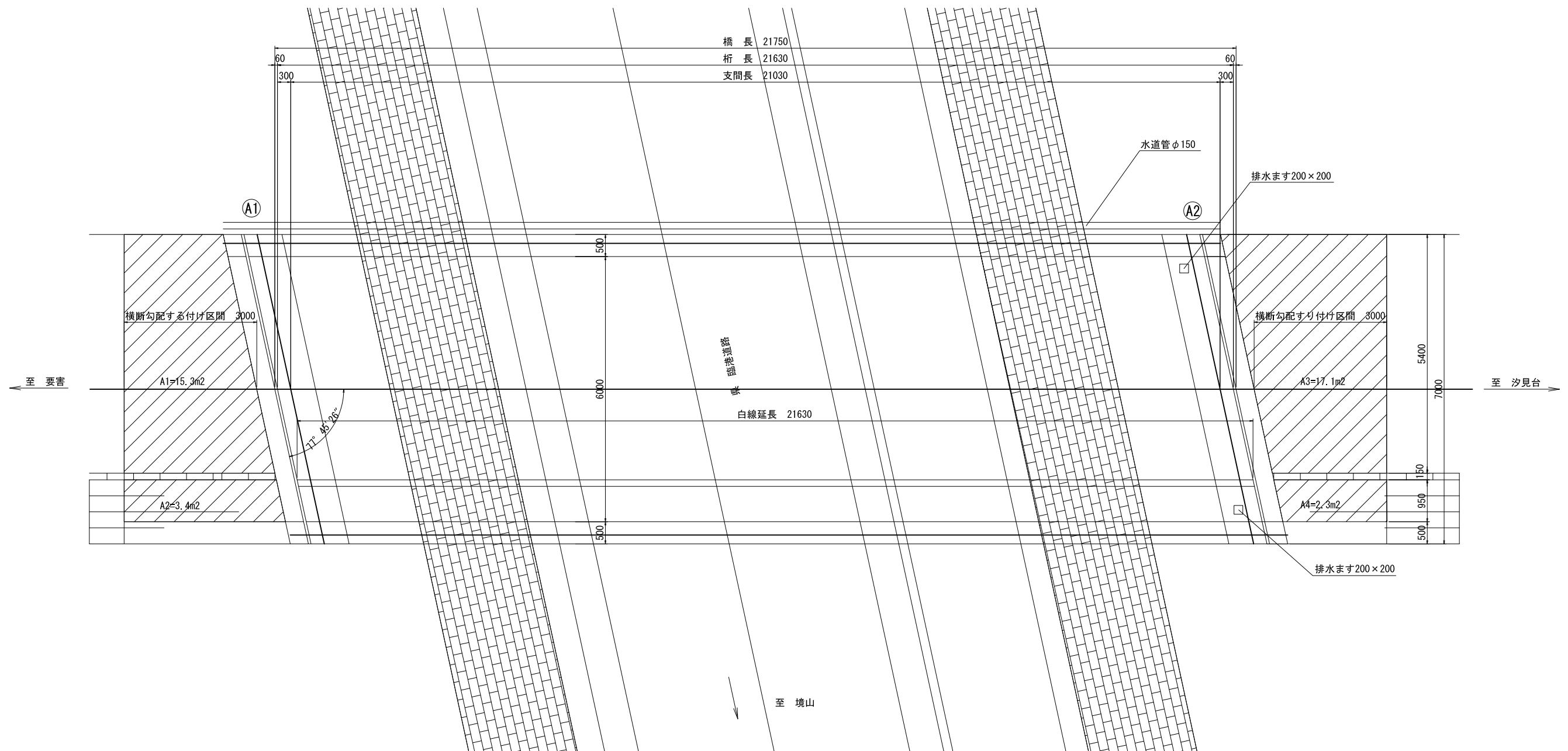


1. 施工延長等は現場実測の上決定すること。
2. 遊間の測定時温度は10°Cとする。

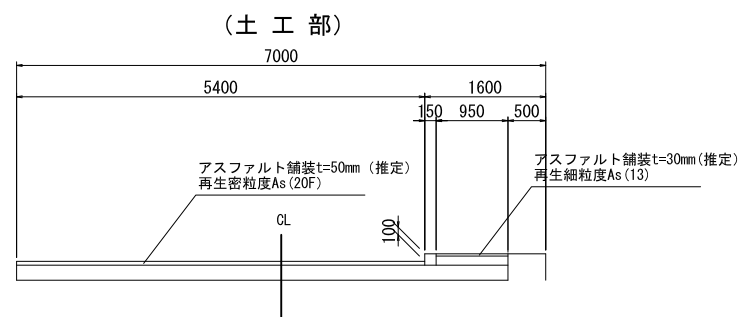
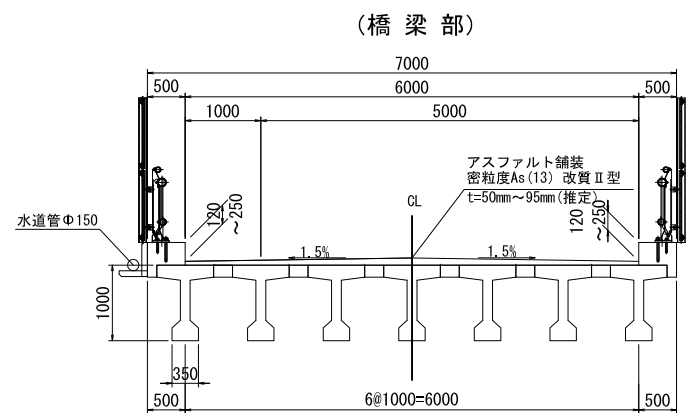
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県七ヶ浜町	東宮浜字小田	地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	伸縮装置取替工図(2) [参考図]		
縮尺	図示	位置No. ~No.	
設計者	設計年度	平成30年	
宮城県七ヶ浜町		図番	14/19

要害1号1号橋 区画線工・舗装打換え工図 S=1:50

平面図



横断勾配すり付け



※現橋の横断勾配LEVELを1.5%のすり付けに変更するために、
胸壁背面より3.0m程度で横断勾配のすり付けを行なう。
※すり付けは現地に合せて行なうこと。

区画線工 数量表

項目	単位	数量	摘要
区画線工	白色実線	m	21.63
			溶融式手動 W=15cm t=1.0mm

舗装打換え工 数量表

工種	細目	単位	数量
アスファルト舗装	土工部		
	車道 (t=50mm)	再生密粒度As (20F)	m ² 15.3+17.1=32.4
	歩道 (t=30mm)	再生細粒度As (13)	m ² 3.4+2.3=5.7
橋梁部			
	車道 (t=50~95mm)	密粒度As (13) 改質II型	m ² 6.0×21.63=129.8

(1橋当り)

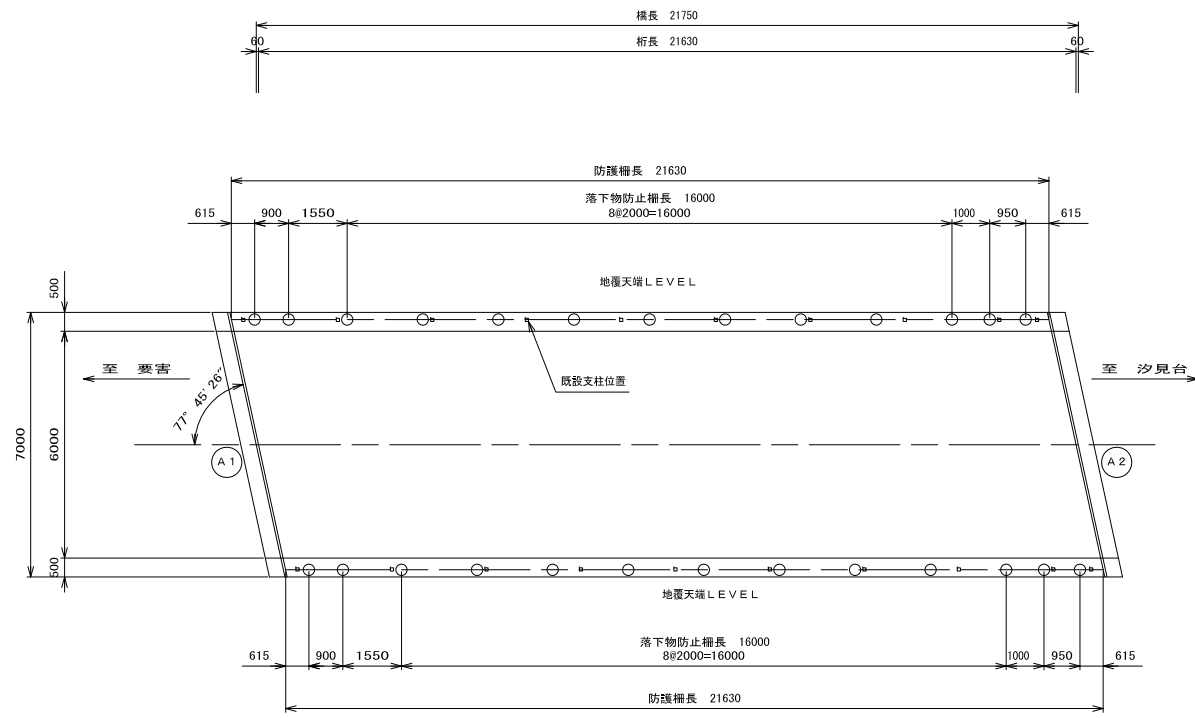
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	全体一般図		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	15/19

※この全体一般図は既往資料及び現地計測により復元したものである。

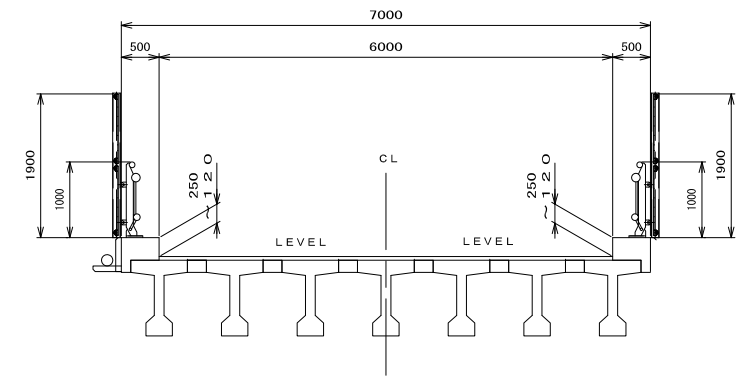
要害1号1号橋 防護柵取替工図[参考図]

平面割付図 S=1:100

<注記>
・防護柵長およびポストピッチはアンカー中心位置での美長を示す。

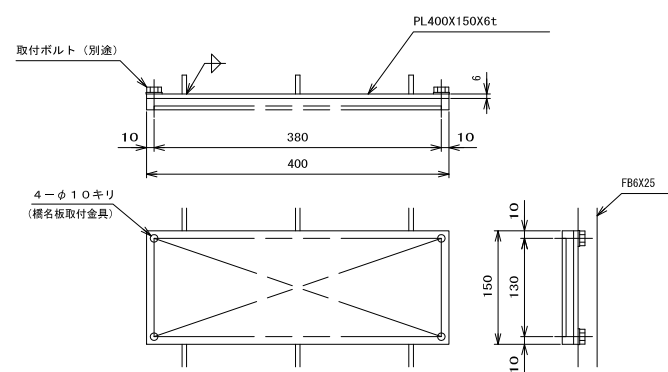


断面図 S=1:50



橋名板取付金具直付型 S=1:5

橋名板: 400X150用



材料表

SK-3CF-100KMWH

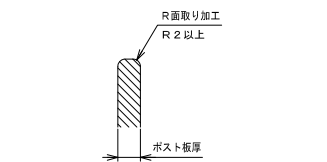
(標準部ポストピッチ2m/10m当り)

名称	寸法	材質	単量	数量	重量
ポスト	995X220X270	SS400	21.26	5.0本	106.3
レール	φ114.3X4.5t	STK400	12.20	9.975m	121.7
レール	φ89.1X2.8t	STK400	5.96	9.975m	59.5
レール	φ76.3X2.8t	STK400	5.08	9.975m	50.7
補助レール	φ34X2.3t	STK400	1.80	9.200m	16.6
欄手	φ101.6X4.5tX300	STK400	3.23	5.0本	16.2
欄手	φ76.3X4.2tX300	STK400	2.24	5.0本	11.2
欄手	φ65X4tX150	STK400	0.91	5.0本	4.6
レール受け金具	60X80X2t	ステンレス	0.12	5.0コ	0.6
立貫	FB6X25X447	SS400	0.53	60.0本	31.8
支持板	FB6X25X127	SS400	0.15	10.0本	1.5
止めボルト	M12X40 (B.W.SW)	強度区分: 6.8以上	0.06	40.0本	2.4
樹脂アンカー用ボルト	M22X310 (全ネジ)	強度区分: 8.8以上	1.04	10.0本	10.4
樹脂アンカー用ボルト	M20X195 (全ネジ)	SS400	0.52	10.0本	5.2
合計					454.9Kg

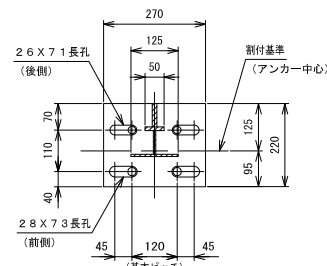
ポスト外周端面 S=1:1

橋梁用ビーム型防護柵 S=1:10

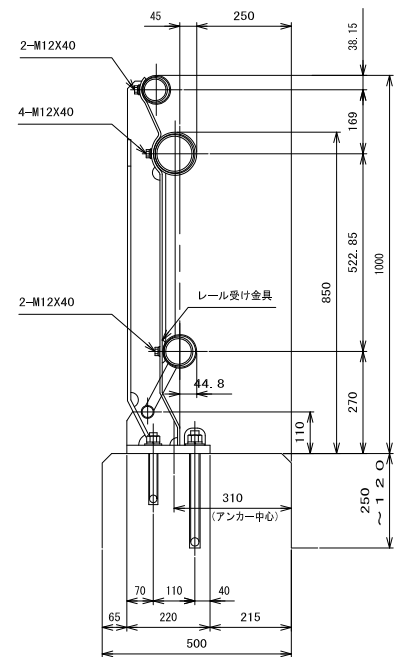
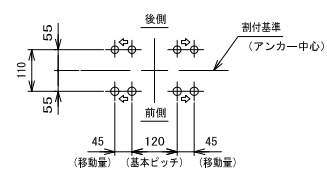
SK-3CF-100KMWH



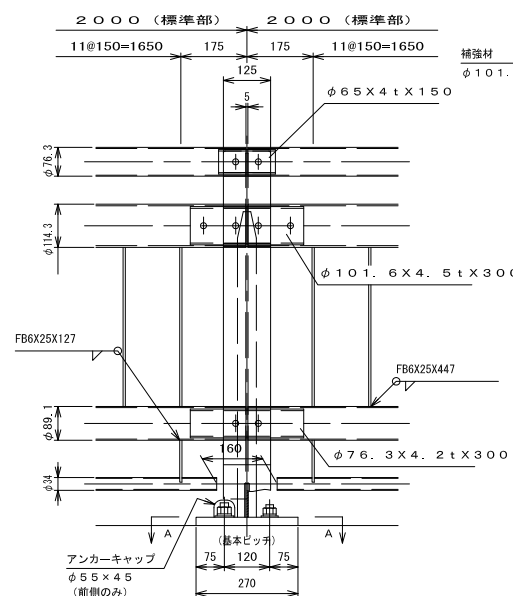
A-A (ベース図)



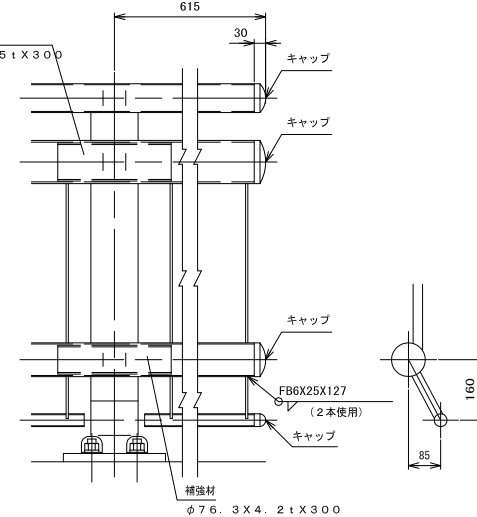
アンカーボルト移動可能寸法



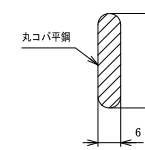
標準部



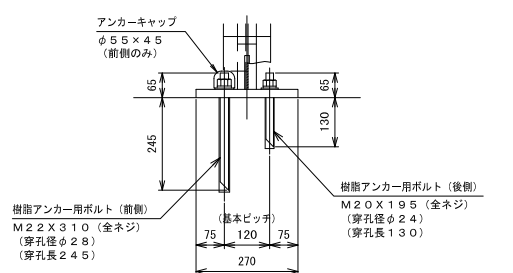
端部 (端部補強処理部)



立貫断面 S=1:1

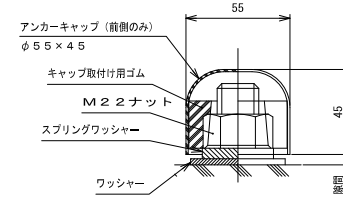


レベルポスト定着部



アンカーキャップ S=1:2

(前側アンカー鋼製保護キャップ)
注>アンカーキャップは前側に取付。後側は取付不要。



※施工前に水道管添架用取付金具のアンカー寸法を確認すること。
※既設橋の配筋図がないため防護柵位置は地覆鉄筋を考慮していない。
※施工前に鉄筋探索を行ない、地覆の鉄筋を切断しないようにすること。
※施工前に現地計測を行いアンカーが鉄筋と干渉する場合は適宜変更すること

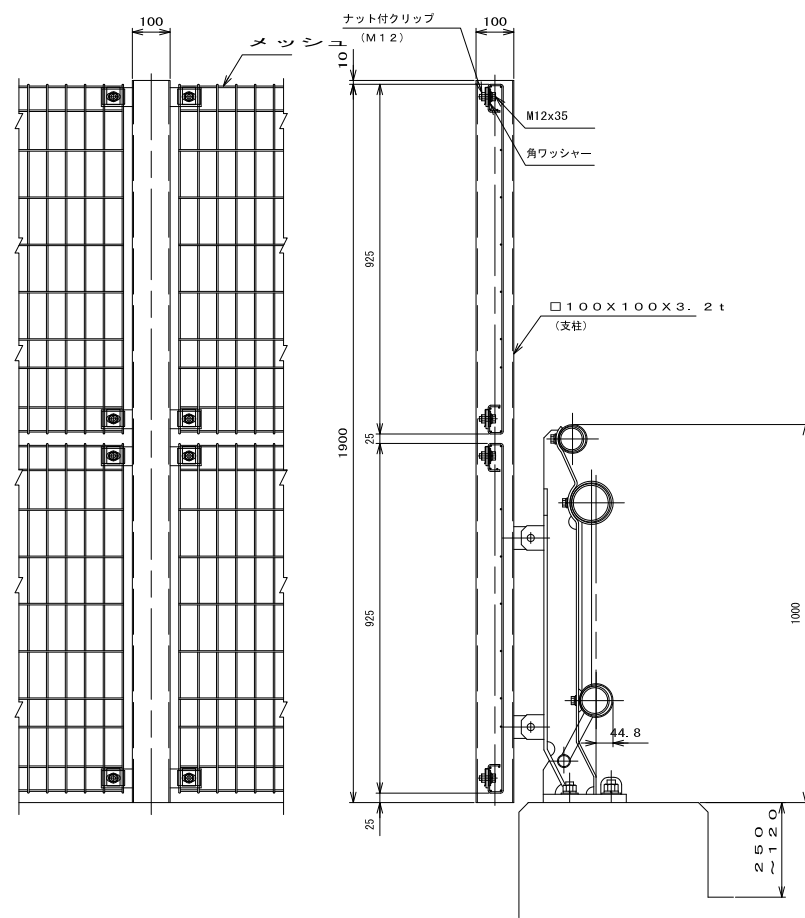
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	防護柵取替工図[参考図]		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	16/19

要害1号1号橋 落下物防止柵設置工図[参考図]

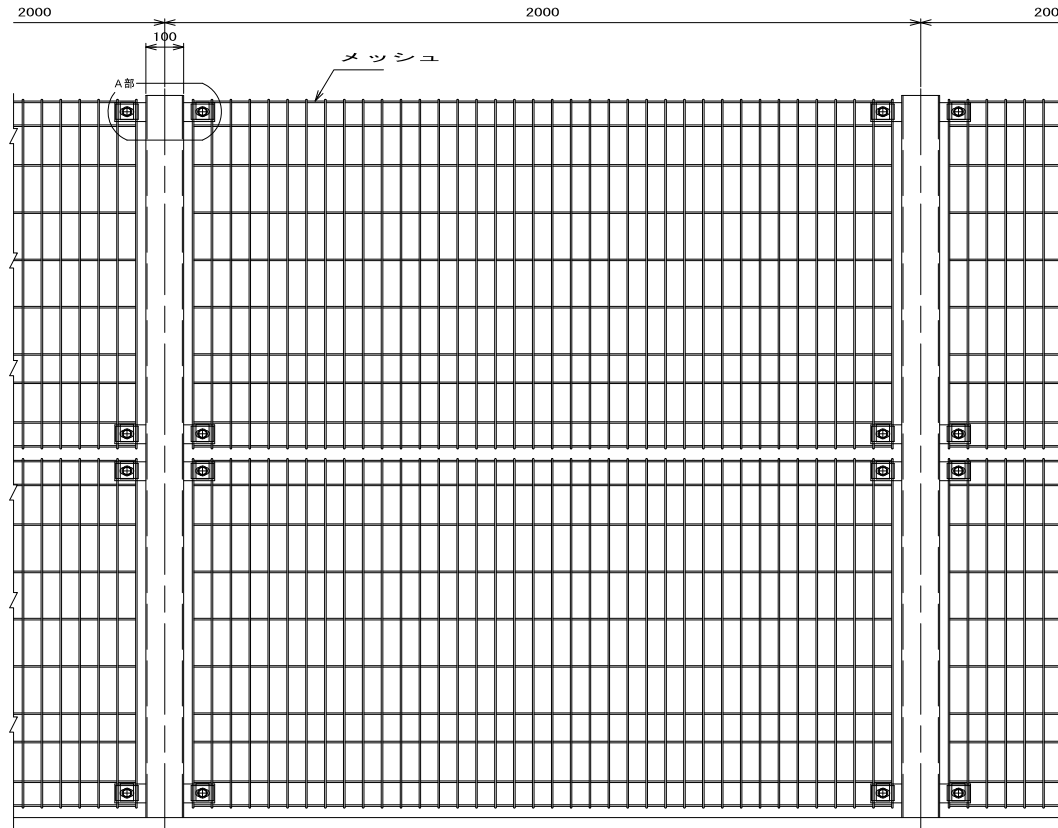
落下物防止柵 S=1:10

SK-AA1900

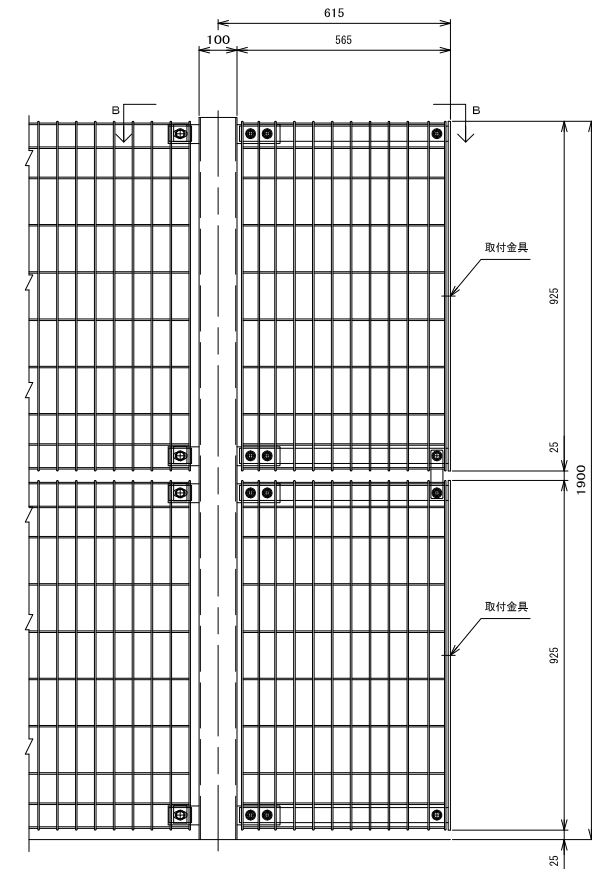
背面図



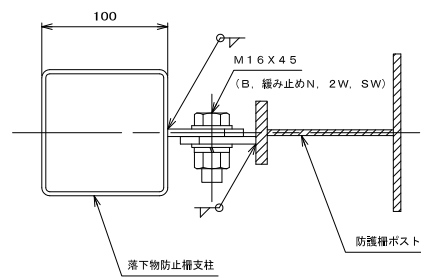
正面図



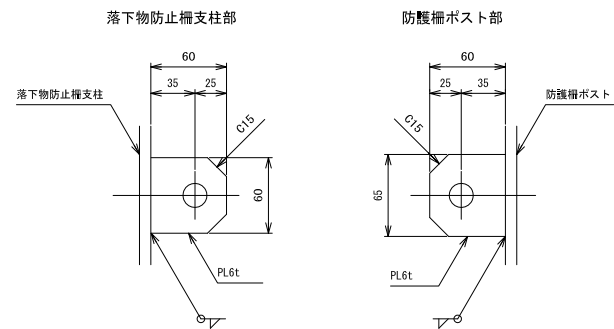
端部



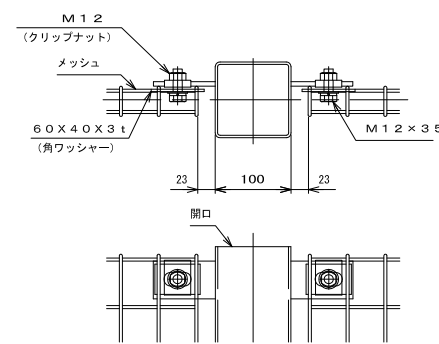
落下物防止柵支柱取付詳細 S=1:3



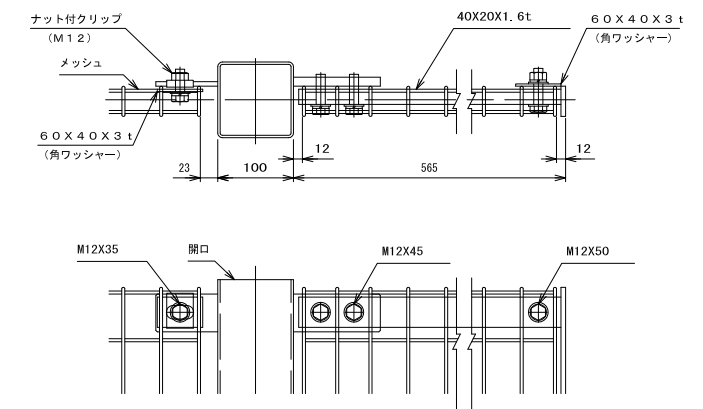
落下物防止柵取付板 S=1:3



A部 S=1:5



B部 S=1:5



材料表

SK-AA1900

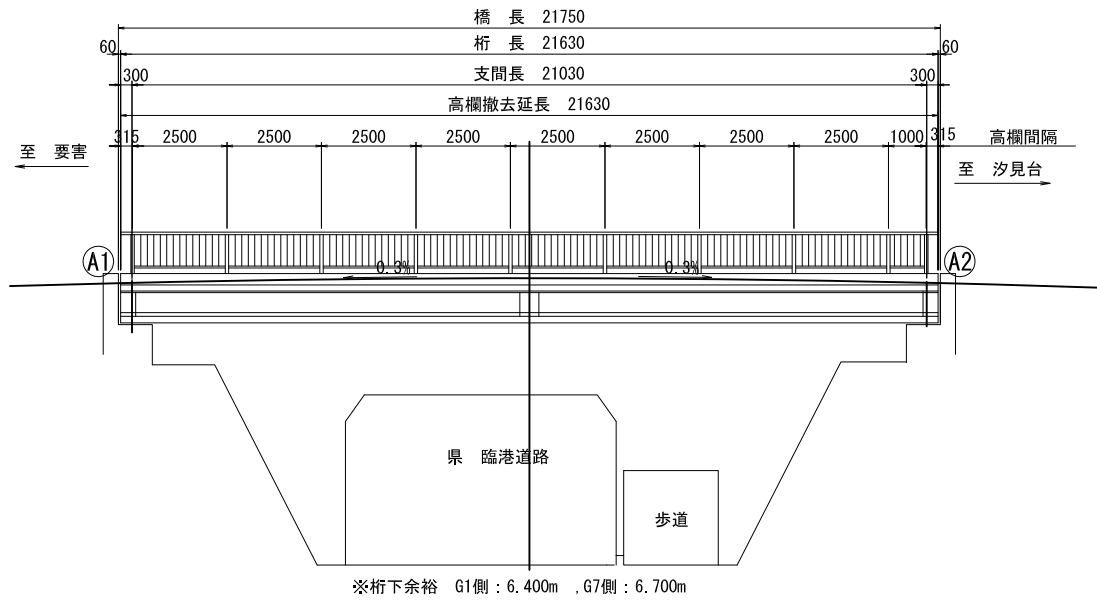
(標準部ポストピッチ2m/10m当り)

名称	寸法	材質	単価	数量	質量
支柱	□100X100X1910	STKR	18.96	5.0本	94.8
メッシュ	925X1854X40	SWMGH	5.05	10.0枚	50.5
クリップナット	46X35X9	SS400	0.02	40.0コ	0.8
角ワッシャー	60X40X3t	ステンレス	0.05	40.0本	2.0
止メボルト	M16X45 (B. 緩み止めN. 2W. SW)	SS400	0.13	10.0本	1.3
止メボルト	M12X35 (B. W. SW)	SS400	0.06	40.0本	2.4
合計					151.8Kg
落下物防止柵長	L= 32.000m				
表面処理: 消磁重めつき後、工場粉体塗装仕上げ					

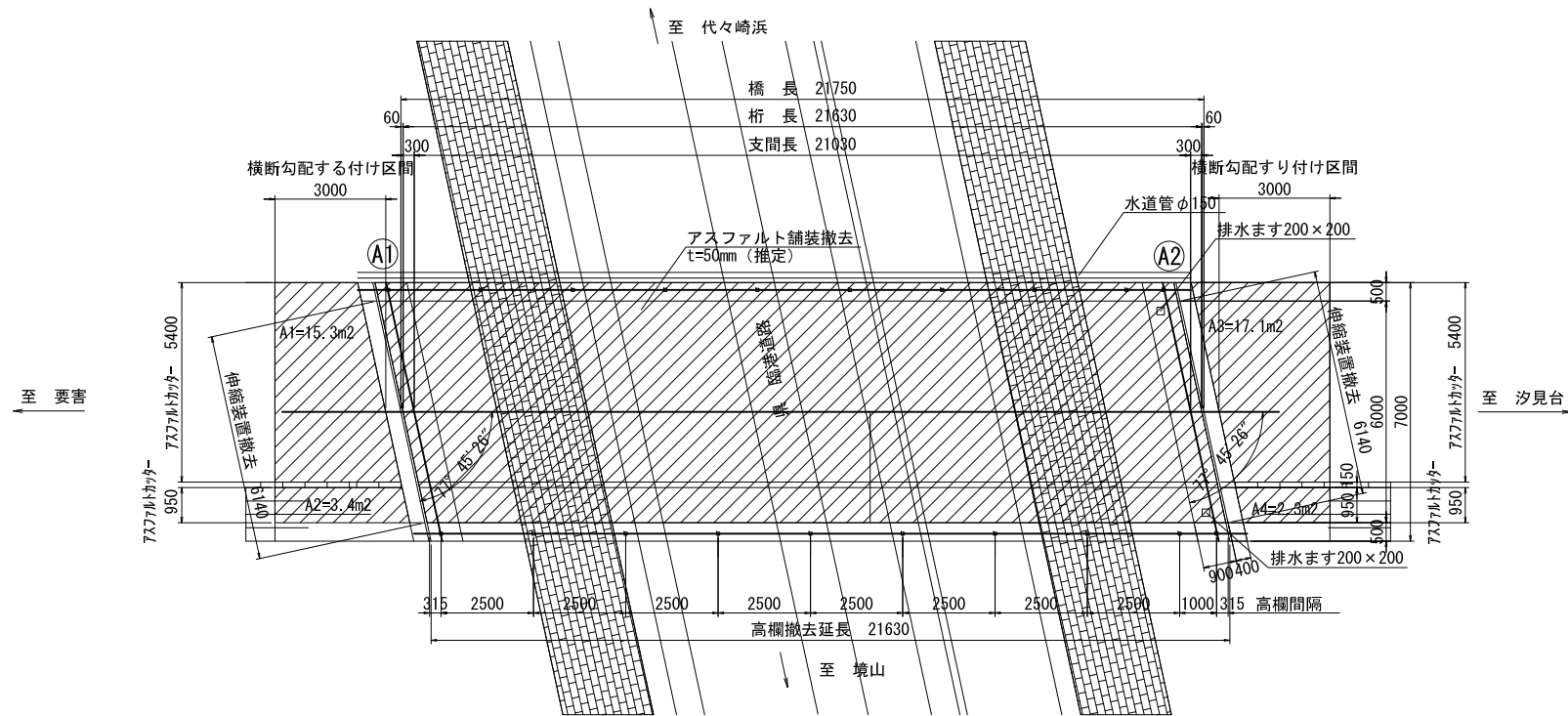
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城県七ヶ浜町	東宮浜字小田	地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	落下物防止柵設置工図[参考図]		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
宮城県七ヶ浜町		図番	17/19

要害1号1号橋 撤去工図 S=1:100

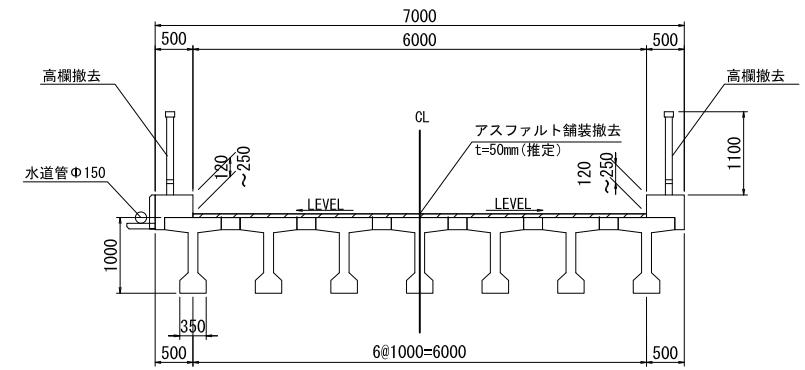
側面図



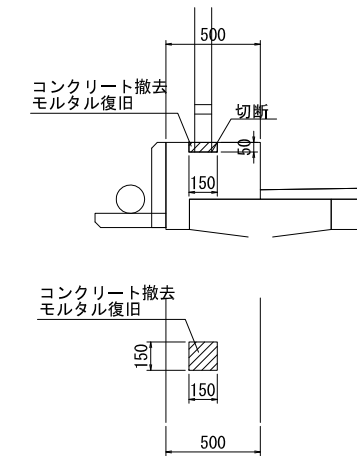
平面図



断面図 S=1:50



既設高欄支柱部処理図 S=1:20



- ※既設高欄撤去手順
- 1) 高欄支柱基部コンクリートのはつり
 - 2) 高欄支柱を切断
 - 3) モルタルによる復旧

撤去数量表

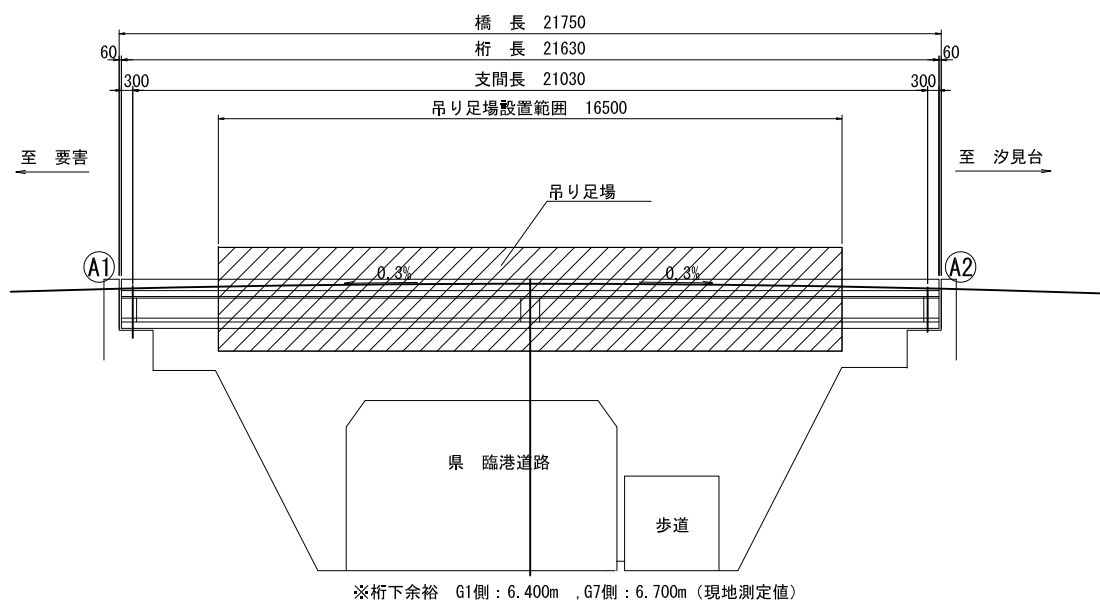
工種	細目	単位	数量
橋梁部			
アスファルト舗装撤去	体積	m ³	21.63 × 6.00 × 0.05 = 6.49
	重量	t	6.49 × 2.35 = 15.25
高欄撤去	延長	m	21.63 × 2 = 43.26
	重量	t	43.26 × 12.5kg/m (推定) = 541kgf → 0.54tf
	切断箇所		10 × 2 = 20
地覆コンクリート撤去 (無筋コンクリート)	体積	m ³	0.15 × 0.15 × 0.05 × 20 = 0.023
	重量	t	0.023 × 2.35 = 0.054
地覆モルタル復旧	体積	m ³	0.15 × 0.15 × 0.05 × 20 = 0.023
伸縮装置撤去	延長	m	6.14 × 2 = 12.28
土工部			
アスファルト撤去			
車道 (t=50mm)	体積	m ³	(15.3+17.1) × 0.05 = 1.62
歩道 (t=30mm)	体積	m ³	(3.4+2.3) × 0.03 = 0.17
(車道+歩道) 重量	重量	t	(1.62+0.17) × 2.35 = 4.21
アスファルトカッター	延長	m	(5.40+0.95) × 2 = 12.7

※この全体一般図は既往資料及び現地計測により復元したものである。
 ※施工に先立ち現地計測を行い寸法を決定する必要がある。
 ※舗装厚は推定なので現地計測により適宜修正する必要がある。

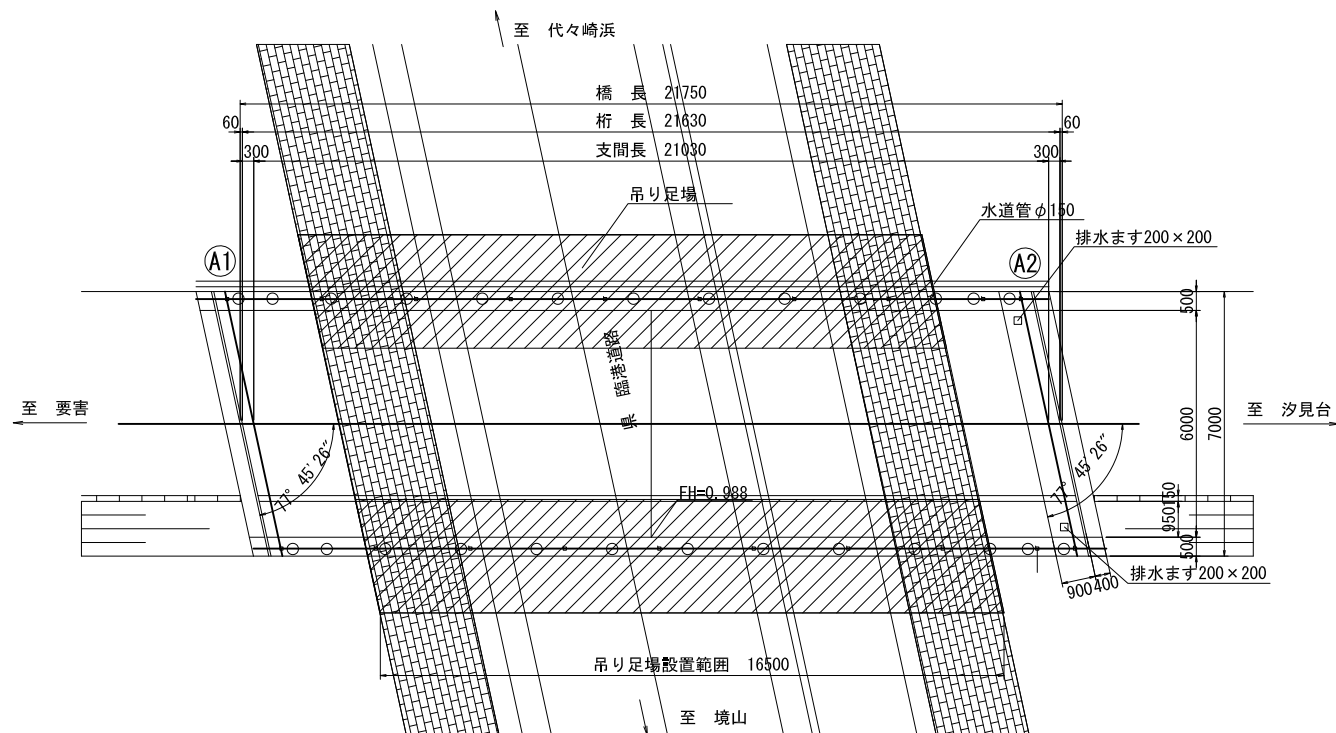
工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	撤去工図		
縮尺	図示	位置 No. ~No.	
設計者		設計 年度	平成30年
	宮城県七ヶ浜町	図番	18/19

要害1号1号橋 足場工図[参考図] S=1:100

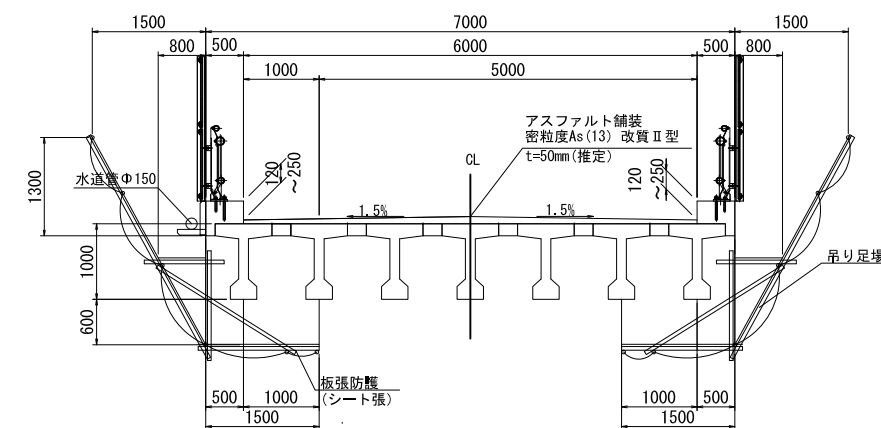
側面図



平面図

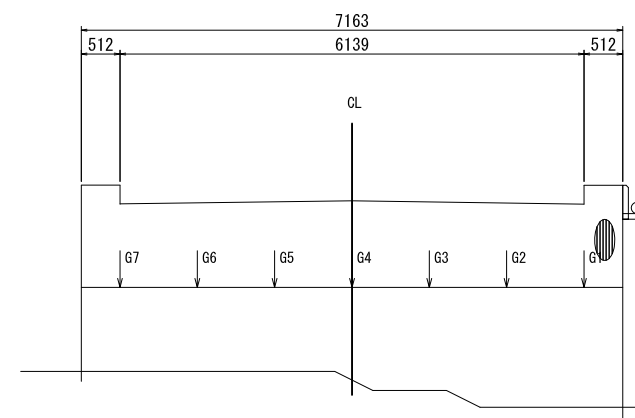


断面図 S=1:50

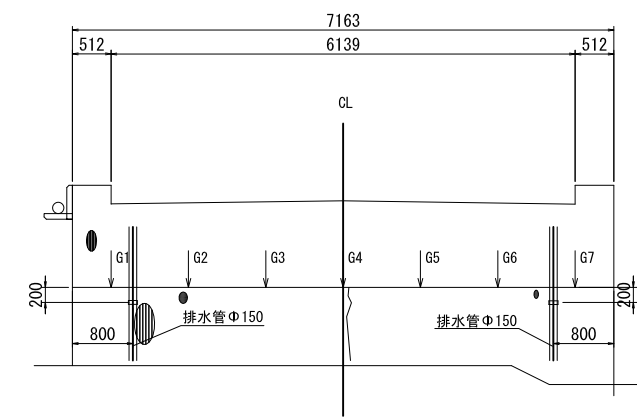


橋台正面図 S=1:50

(A1橋台)



(A2橋台)



数量表

工種	細目	単位	数量
仮設工			
足場設備工	ハ工 吊り足場	m ²	16.50 × 1.50 × 2 = 49.5
防護設備工	板張防護工	m ²	16.50 × 1.50 × 2 = 49.5

※この全体一般図は既往資料及び現地計測により復元したものである。

工事番号	七建第18-229号		
路線名	要害1号線		
施工地名	宮城	七ヶ浜	東宮浜字小田 地内
工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事		
図面名	足場工図[参考図]		
縮尺	図示	位置	No. ~No.
設計者		設計年度	平成30年
	宮城県七ヶ浜町	図番	19/19

－ 特記仕様書 －

施工条件明示書

工事番号	工事名	平成30年度 要害1号1号橋修繕工事	事務所名	宮城県七ヶ浜町	
項目	条件	内容	施工方法	備考	
1 共通仕様書の適用					
本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。					
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置					
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	○ある	平成 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)			
	◎ない	○ある	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。		
		◎ない	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)		
上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 上納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/kk50.htm					
3 工程関係					
(1) 関連工事による施工時期の調整	○ある	◎ない			
(2) 施工時期による制限	○ある	◎ない			
(3) 関係機関等との協議の未成立	○ある	◎ない			
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	○ある	◎ない			
4 公害対策関係					
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	○ある	◎ない			
5 安全対策関係					
(1) 交通安全施設等の指定	◎ある	○ない	交通誘導警備員を配置すること		
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	○ある	◎ない			
6 排水工関係					
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	○ある	◎ない			
7 建設副産物対策関係					
(1) 共通事項	下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。				
			処理・処分場所	処理・処分方法	距離 制限時間
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること					
(2) 建設発生土	処理・処分	○ある ◎ない			km 時 分 ~ 分
(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	◎ある ○ない	中間処理	宮城りんかいアスコン株式会社	4 km 9時0分 ~ 16時30分
		◎ある ○ない	中間処理	宮城りんかいアスコン株式会社	4 km 9時0分 ~ 16時30分
		○ある ◎ない			km 時 分 ~ 分
		○ある ◎ない			km 時 分 ~ 分
		○ある ◎ない			km 時 分 ~ 分
(4) 再生材の利用	◎ある ○ない	種類・数量	再生アスコン		
8 工事現場のイメージアップ					
	○ある ◎ない	内容	イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。		
9 品質証明					
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認 チェックリストの対象	○ある ◎ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。			
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象	○ある ◎ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。			
10 標準的な設計図書による発注方式					
	○ある ◎ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。			
11 資材関係					
(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。				
(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。				
(3) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。 「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は環境政策課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。	必須	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。			
	◎ある ◎ない	2. 盛土材、埋め戻し材			
	◎ある ◎ない	3. その他 ()			
	◎ある ◎ない	4. その他 ()			
(4) 現場吹付法特工	吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。				
12 その他					
(1) 舗装の下請制限について	○ある ◎ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。			
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	○ある ◎ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。			
(3) 三者会議の対象の有無	○ある ◎ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。			
(4) 貸与資料の有無	○ある ◎ない	本仕様書によるもののほか工事施工に關して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料 ()			
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	○ある ◎ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。			
(6) 工事写真の電子化の対象の有無	◎ある ○ない	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報標準案)に基づき電子とする。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認めることとする。			
(7) 工事実績情報システム(コリンズ)登録	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。				
(8) 工事書類の簡素化の試行について	○ある ◎ない	1. 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2. 「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合せ簿、材料確認書、段階確認書、立会願、夜間・休日作業届の書類を提出については、電子メール活用を基本とする。 3. これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。			

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
13 積算基準及び設計単価の適用期日				
(1) 積算基準及び設計単価の適用について	◎ある ○ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。		
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	○ある ◎ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の設計単価とする。		
14 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある ◎ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」といふ。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 0.00% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 0.00%</p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めによる増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>		
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある ◎ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
15 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある ◎ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項</p>	
16 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある ◎ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区、○○地区(以下、対象地区といふ)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
17 その他				
(1) 機械損料の補正について	◎ある ○ない	本工事で使用するブルドーザ(リッパ装置付きブルドーザを除く)、バックホウ、ダンプトラック(建設専用ダンプトラックを除く)については運転1時間(日)当たりの損料に105/100を乗じている。		
(2) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱	○ある ◎ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(3) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	◎ある ○ない	<p>間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。</p> <p>補正係数 共通仮設費:1.5 現場管理費:1.2</p>		
特記事項				
1 追加事項1				
(1) 追加 現場代理人の兼務について		条件を満たす場合は、現場代理人の兼務を認める。		
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				